

やまびこ

第109号

平成26年9月



公益財団法人 **八正会**

巻頭言

「八正会について」



理事長 落 司 量 則

今年五月の八正会総会で理事長に就任いたしました。私は企業の経営に永く携わってききましたが、社員教育にも力を入れてきました。学校教育に精通されている、理事、評議員の先生方のお力添えを頂きながら重責を果たしたいと思っています。よろしく願います。

八正会の謂れについては、毎年四月の入会式で理事長より紹介がありますが、(株)トンボの初代社長三宅保正氏が昭和三十一年、「自分が今日あるのは、社会の不特定多数の人々から恩恵を受けているために違いない。この

不特定多数の人々にいささかでも恩返ししたい」という一念で、私財を投じて八正会を設立されました。活動内容はただ奨学金を提供するだけでなく、宿泊研修を含む年四回の研修会を行なうことで会員同士が親睦を深め合い、人間性を向上させることを願っています。八正会とは、仏教の八正道の教えに由来し、八つの正しい道、（正見、正志、正語、正業、正命、正精神、正念、正定）を修行していくことを目的としてネーミングされたといわれていますが、トンボ創業の地、八浜と保正の正を組み合わせた名称ともいわれています。

奨学生の皆さんも、八正会での縁を生かし、研修会を通じ、学校とは違う友達づくりや自己の人間性向上に役立てていただきたいと思います。

目次

巻頭言……………	理事 長	落 司 量 則	1
向上心をもって明るく前向きに活動しよう……	理 事	玉 井 義 郎	1
近現代史の学習について……………	〃	南 智 郎	1
正常性バイアス……………	〃	岡 征 二 郎	3
新たななる出発……………	〃	岡 田 浩 明	5
和を知りて和すれども……………	〃	國 友 道 一	6
部活動……………	高校一年	小 林 陽 一 郎	8
ラグビーと出会って……………	〃	名 田 怜 央	8
新たな挑戦……………	〃	藤 原 淳 美	9
高校に入って……………	〃	栗 山 恵 輔	11
箸作り体験……………	〃	吉 川 朋 之	12
私の夢……………	〃	影 山 都 花	12
高校一年生の一学期を終えて……………	〃	井 上 真 実	13
先輩の努力……………	〃	戸 田 花	14
高一の夏、今思うこと……………	〃	熊 谷 舞 佳	15
疾走、一宮ガール！……………	〃	守 時 優 里	16
高校生活とスマホ……………	〃	濱 田 実 苗	17
高校生活……………	〃	榎 原 勝 也	18
英語の勉強……………	〃	黒 田 尚 輝	19
最近思うこと……………	高校二年	蘆 原 尚 薫	20
中国大会……………	〃	宇 野 美 咲	20
忙しい日々と乾杯……………	〃	岩 田 真 央	21
you were here……………	〃	合 田 紗 也	22
修学旅行の振り返り……………	〃	濱 田 恵 理 香	23
夏の大阪遠征……………	〃	吉 川 智 也	23
見ると解釈……………	〃	佐 伯 拓 馬	24

高校二年生になって……………	〃	安 井 佑 果	25
インターンシップに行ってみて……………	〃	高 井 橋 聖	26
二年生になって……………	〃	酒 井 彩 夏	26
修学旅行にて……………	〃	藤 原 淳 平	27
目の前の課題……………	〃	榎 原 大 毅	28
お城への果てしないあこがれ……………	〃	水 川 碧	29
最近の出来事……………	〃	三 宅 晟	30
失敗と反省……………	〃	河 本 柚 月	31
背高女子あるある(多分)……………	〃	黒 住 美 恵 子	32
朝の始まり……………	〃	松 村 優 里	32
出会い……………	高校三年	難 波 千 里	33
体操人生を終えて……………	〃	影 山 姫 花	34
大学生になれたら……………	〃	小 林 聖 遥	35
近況報告……………	〃	久 富 聖 也	36
応援……………	〃	笠 富 笑 太	37
社会人になるにあたって……………	〃	清 水 晃 希	37
日韓対立において考えたこと……………	〃	小 西 茜 萌	38
「俺様化する子供たち」を読んで……………	〃	萩 原 萌 茜	39
国体合宿で学んだこと……………	〃	小 野 龍 司	40
自分を魅せる方法……………	〃	小 林 桂 子	41
泣ける本……………	〃	片 山 遥	42
受験生になって……………	〃	小 野 雅 史	43
コミュニケーション能力……………	〃	木 田 杏 奈	43
文化祭……………	〃	井 上 法 子	44
時は金なり……………	〃	日 名 絵 里 華	44
夏期研修会日程表……………	〃	夏期研修会感想文……………	46
夏期研修会日記……………	〃	夏期研修会感想文……………	47
夏期研修会感想文……………	〃	編集後記……………	49
編集後記……………	〃		89

向上心をもって 明るく前向きに活動しよう

理事 玉井義郎

私たちは日常いろいろなことに出会い、新しい経験を積み、毎日が進歩しているわけです。病気になることも、受験の苦しみも、そして人との離別も、これらの出来事をひとつひとつ深刻に考えて、この世は苦痛の連続のようにみる人もあるでしょうが、やはり明るく前向きに受けとめたいものです。

困難なことでも新たなチャレンジの目標として、すすんで突っ込みやりとげていく、しかも私なら必ずやりとげられる、うまくいくという自己暗示に似た信念、あるいは意志というものをもってやるのが大切ではないでしょうか。次々に押しよせる困難も喜びも、私たちの人間成長の過程なのだと考えていきたいものです。

これらのことを、たえず向上心で成長していこうと自分を励ますことが大事です。

恵まれた資質をもっている人、立派な行動が出来る人、そのような方々こそ、高い目標に向かって、厳しいチャレ

ンジを続けている人なのではないでしょうか。

(前八正会理事長)

近現代史の学習について

理事 南 智

いま、若者にグローバルな視野の中で現代世界とその中における日本の過去・現在そして未来を、主体的・総合的に考えることを可能とするような歴史認識がついているかどうかが問われている。

「最近の若者は近現代史の知識が不十分である。」「近隣からの留学生が詳細な歴史認識を持っているのに対し、日本の留学生は無知に近く太刀打ち出来ない。」などの指摘を聞いたこともある。たしかに、これまでの歴史教育では、江戸時代までの学習で年間の授業時間の大半を費やしてしまふケースが多く、そのため、日本が国際社会で躍進する明治以降の学習が不十分だったのではないか。これには、教育課程の問題や高校や大学の入学試験の出題に近現代史が比較的少なかったことも反省の一つであるといわれている。

る。

そうした中で、今年六月に日本学術会議の高校歴史教育に関する分科会は、「日本史」「世界史」を統合し、近現代史を中心とした新たな必修科目の新設を提言した。文部科学省も科目新設の検討を始めたという。

日本学術会議では、新しい科目の構成原則として次のことを提示している。

- ① 歴史の理解を深めることを主眼とする。
- ② 日本史と世界史を統合する。
- ③ グローバル・ヒストリーをめぐる近年の成果を生かす。
- ④ 日本と近隣諸国を重視する。
- ⑤ 歴史における長期・広域問題を考えるよう促す。
- ⑥ 教育の方法としてはQ&A方式を重視する。

新科目の設定は何年か先のことであるが、こうしたことに対して、私は現在の高校生に次のことを指摘しておきたい。

一つは、「歴史をなぜ学ぶのか」を問い直すことである。歴史は過去についての問いであるが、現在と関係がないのかと言えばそんなことはない。歴史と現在とは、行ったり来たりの間接的な関係にあると言ってよい。

現代の日本社会を生きている私たちは、当たり前とみな

してあえて問うことなしに済ませていることは多いが、しかし、ごく当たり前と思っている状態は、はたして現在の世界の各地でも通用するのであるか。歴史的な過去においても問い直してみることは無駄ではない。過去を問うことは、実はその根本において現在を問うことに繋がっているのである。今世紀に入って、世界は、ますます変化の速度を上げ、抱えている問題もいよいよ多様となっている。日本は何を求め、どのような歴史を辿って来たのか、これからどこへ行くかとしているのか、そして私たち一人ひとり日本の歴史にどう関わっていけばよいのか、私たち自らの問題だからである。

もう一つは、教科書の最後のページまでしっかり勉強することである。教科書では、原始古代から中世・近世を経て近現代まで、時間的な順序を追いながら、政治にとどまらず出来るだけ多くの領域に目配りをしてまとまった歴史像が書かれている。政治の推移を軸としながら、経済や社会、また文化の動向にも目を配り、総合的な歴史が描かれている。この通史を現代までしっかり学ぶことが基本である。試験の形態から歴史は暗記科目というイメージがあるが、自らが日本の将来を担うとの自覚を持ち、理系も文系も区別なく歴史、とりわけ、現代の課題にいたるまで近現代史をしっかりと学習してもらいたい。

明治維新以降、どういう軌跡を辿って来たかを学ぶことは、今を生きるうえで欠かせない。

(元ノートルダム清心女子大学教授)

正常性バイアス

理事 岡 征二郎

最近のニュースの中に災害に関する報道が数多くなされている。正に災害列島日本と言ってもよいだろう。北米プレート、ユウラシアプレート、フィリピンプレート、太平洋プレートの終結点が日本であり、日本は地震及び関連の災害から逃れることは出来ないであろう。近日では、異常気象の豪雨による水害が多発し、多くの命が失われた。災害に対する情報もその都度出されているが、犠牲者が後を絶たないのも現実である。災害が発生したとき、人間はどのような心理状態に陥り、どのような行動をとるのだろうか。

(一) バイアスの意味

バイアスというのは、多少の異常事態が起こっても、そ

れを正常の範囲と捉え、心を平静に保とうとする働きを言います。この働きは、人間が日々の生活を送る中で生じる様々な変化や新しい出来事に心が過剰に反応し、疲弊しないために必要な働きであります。

過去に経験したことのない出来事が身近に出来たとき、人間はその周囲に存在する多数の人の行動に左右されてしまいます。それは、その人が過去様々な局面で繰り返してきた行動のパターンでも在ります。どうしてよいか分からないとき、他の人と同じ行動をとることで乗り越えてきた行動パターンでもあります。災害等に会ったとき、どうしてよいか分からず、他の人と同じ行動をとることで乗り越えてきた経験、つまり迷ったときは周囲の人の動きを探りながら同じ行動をとることが安全と考える「多数派同調バイアス」(集団同調バイアスとも言う)に心が支配されてしまうのです。自分の周囲に異常事態が発生したとき、「これは訓練でないか」とか「これは何かの間違いではないか」とか言うように私たちの心は目前の事態を異常と捉えず、正常であるという心理が働くのです。異常と認められれば、すぐに何か行動を興さなければならぬが、正常の範囲と知っている間は何もしなくてもよいからです。人間には正常を期待する本能もあるので、つい無意識に楽な方を選択してしまいます。正常バイアスは人の心を守る安

全装置の一つであります。

(二) 災害予想の例

日本では首都直下地震が議論されているが、内閣府有識者会議の想定によると、M七クラスの首都直下地震が起きた場合、最悪の場合で死者二万三千人、経済被害は九十五兆三千億円にのぼるとされている（H二十五・十二、十九日本経済新聞）。首都直下地震はM七で「三十年以内に七十%」の確率とされている。

(三) 災害時の人の心の動き

私たちの心は、予期しない異常事態に対して、ある程度鈍感に出来ている。自然災害や火災、事故や事件などといった何らかの被害が予想される状況下にあっても、自分にとって都合の悪い情報を無視したり、自分は大丈夫などとする心の特性がある。

日常生活で何か変わったことが起こる度に、いちいちビクビク反応していたら心が疲弊してしまうからである。ある限界までの異常は、正常の範囲として処理する心のメカニズムが「正常性バイアス」なのである。しかし、私たちの心を守るための機能が非常事態の際、「まだ大丈夫」と危険を過小評価し、避難するタイミングを奪ってしまうことがある。

(四) 心の訓練

身の回りに異常事態が生起すると、突発的事象に対応できないという人の弱さがあります。このことが災害時に多くの犠牲者を出していることとなります。私たちは平素平穏な日々を期待しています。災害が発生したときに、大切なのは「日常から非日常」、「平常から非常」、「通常・平素から異常」へと、心を切り替えることが必要です。私たちは、日常生活を平穏に継続する空間に住んでいますから、突発的な出来事が起こってもすぐに対応できないし、深層心理で言えば、対応したくないのです。これを解決するには、外部から何らかの力を加えることによって初めて臨機応変の行動に移れるのです。

災害発生時における防災無線、非常放送などに期待されるのは「リスク予兆認知バイアス」で、非常呪縛から開放し、緊急事態スイッチをONにすることです。この早期気付きを促進するためには、実践的防災知識や意識付け訓練が必要です。

参考 インターネット情報

災害時、人が逃げ遅れてしまう理由「正常性バイアス」とは

新しい医療用語「正常性バイアス」

防災システム研究所―防災心理学他

Wikipedia「認知バイアス」

(元旭川荘療育センター児童院顧問)

新たな出発

理事 岡 田 浩 明

今年三月、三年間勤めた旭川荘厚生専門学院を退職し、縁あつて六月、岡山理容美容学園の理事長に就任した。定年退職後三度目の勤めである。

今回は、看護師・保育士・介護福祉士等を養成する専門学校から、理容師・美容師を養成する岡山県理容美容専門学校への転進である。私自身、フルタイムの勤務から、週一〜二回の勤務で、立場が変わり、勤めは少し楽になったが、再び張りのある生活をいただくこととなった。

同じ専門学校でも、全国から学生を集める医療福祉の総合的な学院から、ほとんどの学生が県内出身者で、こちらまりとまとまった本校は、同じ専門学校と思えないほどの違いがあつたが、学生は何れも、入学の目的が国家資格取得であり、講義や実習への真剣な取り組みは同じである。

私の最初の仕事は、理容科・美容科の通信課程卒業式ではなむけの言葉を述べる事であつた。

通信課程は、十月に入学し、三年間学び、九月に卒業する。スクーリングは約五十日(三百時間以上)、それに加え必要なレポートを提出するというシステムである。

入学者は、殆どが新規卒業者である全日制と違い、サロンの働きながら、また本校のトータルビューティ科などでダブルスクールで学びながらの学業である。年齢も様々で、仕事に子育て、主婦業をこなしながらの学校生活である。それだけに、卒業式は涙のある感動的なものであつた。来賓は、岡山県理容組合、美容組合の理事長さんなどで、祝辞もいただいた。私は校長さんの式辞の後に、人との出会いの話をし、「一期一会」の言葉を贈つた。以下はその抜粋である。

『結婚し、落合町から岡山に出てきたとき、最初に入った理髪店は、雰囲気は悪くはないのですが、何となく落ち着かない、なぜか違和感があつたので、一回で止めました。次に入った店は、理容師さんも気に入り、以来四十年近くお世話になっています。』

なぜか？ 店に入つてまず、落ち着いている、ここなら安心して任せられる、と感じたからです。

次に技術です。私は生まれつきの天然パーマで、髪に關し少し劣等感もありましたが、一発で気に入るようについたのだと思います。その理容師さんとはそれ以来の長いつきあいです。理容師さんを信頼し、自分を任せたくわけて。髪はながーい友と書きますが、髪が理容師さんとの仲立ちをしてくれました。

皆さんは、「一期一会」という言葉を知っているでしょう。茶道に由来することわざですが、一期は、一生という意味です。一生に一回会うと読めます。

一期一会とは、一生に一回しか会えない出会いであり、これが最後と思ひ誠意を持って応対しようと言う意味ですが、初めて会う人だけでなく、毎日会う人や度々会う人にも、今日が最期と思ひ、その瞬間瞬間を大切にすること、との意味も含まれています。

これから皆さんは、多くの人に会い、多くのことを学び、社会人としても、理容・美容の専門職としても成長されていくと思います。

成長への第一歩は、他の人といかによい関係を作っていくかどうかです。自分から進んで笑顔で挨拶をすることや、相手の気持ち、お客の気持ちを考えて、接客を行っていくことなどです。

言うは易いが、実行は難しいことを、また、社会人とし

て当たり前前のことを、あせらず、休まず、あきらめず、地道に続けていくことだと思ひます。』

このように話しましたが、八正会会員の皆さんも、多くの方々との出会いを大切にし、様々な体験を積み重ねながら、自分の生き方を考え、充実した高校生活を送られ、大きく成長されることを期待しております。

私も、皆さんや学生から、若さをいただきながら、今度の仕事もしっかりと勤めたいと、思ひを新たにしたり一日でした。

(岡山理容美容学園理事長)

和を知りて和すれども…

理事 國 友 道 一

平成二十六年八月上旬、中国を訪問する機会に恵まれた。高等学校の生徒が中国山東省曲阜市にある曲阜市第一中学との交流会に同行したのである。曲阜と言え、中国春秋時代の思想家で儒学の始祖と言われる孔子の生誕地である。

学校訪問を終えたあと、孔子ゆかりの地である三孔（孔廟、孔府、孔林）を見学した。その中の一つである孔府は孔子の直系子孫のための邸宅である。しかし、直系の子孫は中華人民共和国建国後に台湾に移住したため、現在は観光地として一般に公開されている。その敷地内の一つの建物に「六代含飴（がんし）」という横額が掲げられていた。この言葉の意味は、「辛いことがあつても飴を口に含んだようなおらかな気持ちで六世代が相和して暮らす」という意味だそうである。孔家繁栄の秘密がこの言葉に隠されているように感じられた。

また、先日知り合いの中国人の方から「和気生財」という言葉を教えていただいた。中国のビジネス界でよく使われる言葉で「皆が仲良くすればお金は自然と貯まるものがある」という意味だそうである。「六代含飴」にしろ「和気生財」にしろ「和」の大切さを説いたものである。

さらに、日本にも同じような教えがある。聖徳太子が制定したと伝えられている十七条憲法。その冒頭の第一条は「和を以て貴しと為し」となっており、貴族など政治に携わるものの道徳的規範を示したものである。中国や日本をはじめ東アジアの国々では和を保つことの大切さが説かれているが、これは儒教の教えに基づくものであろう。

ところで、「和」が大切であるとはいえ個性や考え方の

異なる人間同士が和を保つのは難しいものでり、それなりの工夫がいるものである。昔からよく使われる言葉に「親しき仲にも礼儀あり」がある。礼儀は人間関係を円滑に保つための秘訣であるように思う。人間はだれでも親しさのあまりつい失礼な態度をとり、相手に不愉快な思いをさせることがある。どのような相手であれ礼儀や敬意を失わないことが人間関係を長続きさせる重要なポイントではないだろうか。また、和を保つ上でもう一つ心すべきことがある。「和して同ぜず」という論語の章句がある。仲良くしても決して馴れ合いにならず、自分の主体性は失わないという意味である。自分の主体性を失わないことは相手の主体性も尊重するということでもある。和するとは同じ考えになることではなく、意見の違いを乗り越えてお互いを理解し合うことが大切である。「和」の大切さを知って和を保とうとしても、これらの事を心に留めて人間関係を節節することがなければ和が保つてないのである。

（岡山県青少年教育センター 関谷学校所長）

部活動

岡山城東高校一年 小林 陽一郎

高校に入学して五ヶ月が過ぎようとしています。夏休みに入っても部活と課題で忙しい毎日です。

私はバスケットボール部に所属して日々活動しています。つい先日、大山遠征に行ってきました。この遠征は、本当に忙しく一日に十四時間バスケットをするという日もありました。遠征は三日間しかありませんでしたが、とても疲れたのを覚えています。

こうした毎日の厳しい部活をしながらとても多い城東高校の夏休みの課題と戦っています。よく課題をしながら頭に浮かぶ中学校の頃の顧問の先生の言葉があります。それは、

「部活は学校生活の延長であり、学校生活を疎かにするやつは部活をする資格はない。」

という言葉です。中学校の頃はなんとなく聞いていた言葉ですが、今では部活と勉強の両立を支えてくれる言葉です。バスケットボールをしていると、このような自分を支えてくれる言葉によく出会います。高校に入学してそういう言

葉に耳を傾けられるようになりました。

私は様々な人に支えられています。このような言葉をかけてくださる先生、毎日の生活を支えてくれる家族、一緒に励まし合って部活や勉強をする友達。部活ができるのは当たり前ではなくこうしてたくさんの人に支えられているからこそできるものです。だから、常に感謝の気持ちを持って生活していきたいです。

九月には新人戦があります。これからも部活を頑張つて絶対に県大会に行きたいです。

最後になりましたが八正会の先生や役員の方々、同級生・先輩の方々、分からないことだらけでいろいろ迷惑をかけると思いますが、三年間よろしくお願いします。

ラグビーと出会って

玉島高校一年 名田 怜央

四月、入学した僕は、どこの部活に入るかまだ決めていませんでした。小学校から中学校まで野球をしていたので野球部に入るのか……それとも、最近ハマっているバレー

をしようかと悩んでいたところに友達が、

「ラグビー見学に行こうや。」

と、誘ってくれました。

僕は、ラグビーなど考えてもみなかったスポーツの名前を聞いて、びっくりしましたが見学することにしました。

友達とグラウンドに出て行くと体格がでかい人や、いかにも足が速そうな先輩など体育会系の選手が練習していました。

ですが、その中にも身長が低い先輩や逆に見上げるほど大きい先輩もいて、僕が考えていたラグビーのイメージとは、違っているなど思っただけで見ると先輩が近くに来て、「めっちゃ楽しいから入ろうや。」

「今いる選手のほとんどは、高校から始めとるけん、初心者だったんで。」

と、話しかけてくれました。僕は、ラグビーに興味を持ち入部することに決めました。

ラグビー部に入り、まず基本のボールの扱いやタックル、守備位置などを教えてもらいました。ボールはだ円形なので野球と違い投げにくく、タックルは、派手にぶつかるとイメージがありますが細かなルールがたくさんあり、さすがは紳士のスポーツと言われるだけあって礼儀を重んじています。『ラグビーが出来る環境に感謝』がスローガンです。

今まで知らなかったことに気付くことができたと思います。

ボールの扱いになれ、ルールを覚え始めた頃、遠征先で一年生の試合がありました。

相手は滋賀県の強豪チームで同じ一年とは思えないほどの迫力でした。

僕は試合でたくさんミスをしてしまいチームも負けてとても悔しかったです。

辛い練習や厳しいことを言われることもありますが、タックルがきれいに決まったり、相手を抜いた時は、練習して良かったと思います。

これからは試合で負けても何がいけなかったのかという自分の課題を考え、一つ一つスキルを上げて、夢の花園を目指して努力していきたいと思います。

新たな挑戦

岡山操山高校一年 藤原 淳 美

この四月に私もついに高校デビューを果たしました。今となっては中学での思い出がとてなつかしく感じます。

本当にあつという間にすぎて、あの思い出もこの思い出もとてもいい経験となりました。

今まで以上に忙しくなる高校生活では息をつく間もないくらいすぐに卒業を迎えることでしよう。勉強に部活とやることがたくさんありそうです。

さて、長い前置きはおいといて本題に入ろうと思います。私はあんな忙しい高校生活をより充実したものとなるようにある二つの目標をたてました。この二つの目標を常に頭の際におきながら生活していきたいと考えています。

まず一つ目は「新しいジャンルの本を読むことに挑戦する」です。私は小学二年生の頃から読書が大好きで、暇さえあればいつも本を読んでいます。様々なジャンルの本をたくさん読んでいましたが中でも好きだったのが小説です。小説を読んでいると物語の中に自分が引き込まれていくのがわかってすごく気持ちがいいんです。その感覚に囚われていたため、逆に評論や随筆などは縁遠いものとなっていました。特に純文学は一度も読んだことがないくらいです。私はそんな差別をとりはらうべく、まず有名所から攻めるということで夏目漱石の作品を読んでいます。新しいジャンルの本を読んでいると新しい発見をします。思いきってみてみるのもたまにはいいものです。

二つ目の目標は「自分に素直になる」ということです。

高校生活や日々の生活を楽しむためにも健康でいること、ストレスをためないことが最も重要だと考えました。私は昔から我慢してしまいう質なので素直になることが非常に難しいのです。「まだ大丈夫、もう少しやれる。」と自分に負荷をかけすぎてしまうので「もう疲れた、無理。」などとメリハリをつけられるようになりたいと思います。

勉強することはあまり好きではありません。かと言って嫌いだとも言えません。私は自分達の生活を理解し、発展させるために様々なことを学ぶのではないのでしょうか。さらに楽しみながら学ぶことで通常以上に得るものがあると考えています。読書はその一つの方法であり、素直になるということは真つすぐに物事を見つめる上で大切なのではないのでしょうか。今後の生活ひいては私の人生をよりよく生きるために今回定めた二つの目標を常に意識しながら生活していきたいです。

高校に入って

就実高校一年 栗山 惠輔

時の流れは早いことに、僕ももう高校生となりました。さて、初はやまびこですが、今回は高校での近況報告でもしようかと思えます。

高校が始まる前の春休み、実をいうと僕は不安でいっぱいでした。まず勉強について、本当に自分が行ってもついていけるのだろうか、勉強の量におし潰されないか、など色々なプレッシャーに悩まされてきました。友人関係についても、友人ができるかどうか、などとても不安でした。ところがふたを開けてみるととてもびっくりしました。僕が一番恐れていた、勉強勉強といった風な勉強だけ、という雰囲気でなかったからです。当然高校は勉強をする場なのですが、その雰囲気におし潰されそうで僕は不安でした。ところがそれだけではなく、同じクラスの男子と趣味が一致しているという奇跡がおこりました。まさか同じ趣味の人が集まっていたとは思ひもなかったものでうれしかったです。幸せなことにその人たちとすぐに仲良くできるようになりました。女子の人も気さくな人も多く、友人になる

ことができました。

勉学の方も、まだ若干不安は残りますが、何とか授業にはついていけるようになりました。友人たちとも教えあったりして、共に高めあっていくこともできます。入学前の不安は何だったのか、と言いたくなりますが、僕は今、楽しいと感じています。

部活も、中学から続けているバスケットボール部に入部しました。練習がきついときもありますが、両立を目指してどちらも最後までやりとげたいです。

再び勉学の方に話をもどしますが、現状僕は数学と英語が苦手です。夏休みは、数学は基礎から復習し直して、英語はまず単語から覚えていくなどして改善していきたいです。「継続は力なり」とあるように毎日コツコツと努力をつんでいきたいです。

一生に一度しかない高校の三年間、しっかり勉強して、楽しんでくれないようにしたいです。

拙い文章ですみませんでした。八正会の皆様、これからよろしく願います。

箸作り体験

総社南高校一年 吉川 朋之

先日、民芸展のイベントで「MY箸づくり」に参加しました。みなさんは、倉敷にある「松本民芸家具」の作り手である松本行史さんを知っていますか？その松本さんのご指導を箸づくりで受けることができました。

まずは箸に使う材木選び。自分は削り易いと聞いたので、ブナ材を選びました。長さを決めて、のこぎりで切ります。次に箸の形（丸・角など）を決め、かんなを使って、形に近づくように削っていくのですが、これが想像を越えて大変でした。自分はんかなを使うのが今回初めてで使い方に慣れていないせいもあり、手に余分な力が入るばかりで思うように削ることができません。形状を丸くしようと決めただけで、丸くなっていくにつれてコロコロ転がってしまうので、平均的に丸くするのも苦戦しました。かんなの大きさは、小ささまざまなものがあり、職人さんは愛用の道具を駆使して、ひとつの木から美しい作品を作っていくのです。大量生産でない手づくりの作品は、値も張りますが、これだけ手間ひまがかかるのだから納得です。木工だ

けでなく、日本には世界に誇れる技を持った職人さんがたくさんいるので、機会があれば写真等でなく、実際に自分の目で作品を見てみたいと思います。

自分の作った箸は、まだ手元にありません。削り磨いたあと漆を塗るのですが、漆はかぶれるので、自身で塗らせてはもらえません。職人さんが漆を塗って下さってから後日受けとることになっています。漆以外は全て自分で作った箸は格好よくなって、使い勝手もいまいかもしませんが、ぜひ普段に使いたいと思っています。

私の夢

山陽女子高校一年 影山 都花

私は、今年の四月に山陽女子高等学校に入学した。山陽女子高等学校には、ミュージックコースという学科がある。ミュージックコースの中にも、ミュージカル系、音楽実技系、吹奏楽系、教育音楽系があり、私はその中のミュージカル系に入った。

私の将来の夢は、女優になることだ。私とその夢を抱き

はじめたのは、小学三年生の時に初めて見た、劇団四季の「魔法をすてたマジヨリン」を見に行った時だった。舞台に立っている人達は、皆、キラキラ輝いていた。私は、その姿を見て衝撃をうけ、私も、この人達みたいにな、「歌って、踊って、演技をして、お客様に感動を届けられるような人になりたい。」と思いはじめるようになった。

しかし、劇団四季を見に行くためには、お金がかかってしまい、見に来れる人達に限りができてしまい、見に来られない人達には、感動を届けることができない。

だが、テレビなどに出演する女優なら、誰にでも笑顔や感動などを届けられることが出来ると思ひ、そこから私は、女優になるという夢を抱きはじめた。その夢に一步でも近づけるために、この山陽女子高等学校のミュージカル系に入った。

ここでは、元宝塚音楽学校出身の方々が、授業をしてくださる。歌に、ダンスに、演技などを基礎から学べて、色々な事を研究したり、体験できたりする。自分の好きなことを、楽しみながら学べるのが、こんなにもいいことなんだと、ここに来て分かった。

これから三年間、イベントや、レッスンなど、さまざまな行事がたくさんあり、苦しい事、逃げ出したいと思う事もあると思うが、同じミュージカル系の人達と、仲間とし

て、そして、ライバルとして、お互いを高め合っていたらいいと思う。

そして、自分の夢を夢で終らせないように、悔いなく一生懸命、がんばりたい。

高校一年生の一学期を終えて

倉敷青陵高校一年 井上真実

いつもお世話になっていきます。中学校を卒業し、念願の青陵生になって早四ヶ月、とても長かった一学期を振り返って考えたことを初めての「やまびこ」の原稿として書かせて頂きます。

四月。(今では遠い昔のように感じます...) 高校ってシビアだな...: 高校に入学していちばん最初にそう思いました。中学校三年生の時の担任の先生が、高校はシビアだと何回もおっしゃっていたとおりでした。自分でしたことは自分で責任をとるということは自由な面が増え、大人扱いされているようでうれしく感じましたが、今では慣れたもののはじめは戸惑いました。コーラス部と中学生の時から念願だ

った生徒会執行部に入部し、出身中学校の違う友達もたくさんできました。

五月。ゴールデンウィーク課題の量や、初めての高校での定期考査に圧倒され、高校の厳しさを改めて痛感しました。総合学習では大学の学部・学科調べが始まりました。色々な学部や学科のことを知るうちに、自分が将来学びたい学問は何なのだろうかと考えるようになりました。今とはことん悩んで本当に自分に合うものを見つけないと思いません。

六月。コーラス部の活動で岡山県高等学校合唱祭に参加しました。舞台で演奏したり他の学校の演奏を聴いたりするのはとても楽しかったです。もっと上手くなるためにしっかりと練習したいです。

七月。九月にある青陵祭の準備が始まりました。私は今、ホームルーム委員で、まとめ役もしています。私が力不足で迷惑ばかりかけているのですが成功させるためにがんばります！高校生ならではの行事を思う存分楽しみたいです。五ヶ月ぶりに、入試前に書いた志望理由を見返してみました。平日は予習、週末は課題に追われ、部活動も忙しく、逃げ出したくなる自分がとても情けなく感じられました。自分で望んで選んだ道なので、弱音を吐かずがんばりたいと思います。青陵に来て本当に良かったと思えるよう、高

校生活を最高のものにしていきたいです。

先輩の努力

津山高校一年 戸田 花

私はこの春で、十年間ほど通ったスイミングクラブを辞めました。これは、水泳が生活の一部となっていた私にとっては大きな決断でした。理由はありきたりなもので、「勉強に集中するため」です。自分には勉強とクラブを両立する体力はないと感じていました。それでも結局、長年続けた水泳から離れられず、私は今、部活の練習に参加しています。

さて、そんな私は先日、中国大会に出場するために島根へ行ってきました。久しぶりにクラブの友達の泳ぎを見ることができ、とても有意義な時間を過ごせました。彼らの努力の成果を間近で見るとは、私自身のやる気に繋がりました。その中で、特に心に残ったのは二つ上の先輩のレースです。それまで良い成績を聞くことは全くなかった人なのに、彼はその決勝レースで三位に入り、見事インター

ハイへの切符を手にしました。

私はそれを見た後、勉強をするためにクラブを辞めたのに、その分一生懸命努力できていない自分に気づきました。口だけで、どこか妥協している部分が多い自分。努力をするとは、彼のようにずっと成果が出なくとも諦めず、ひとつの目標に向かってひたすらに頑張り、それを叶えることだと思います。彼は高校最後の大会で目標を達成しました。とても素晴らしいことです。私は、水泳の道からは外れましたが、勉強において、彼の努力に負けているようではないかなと強く感じました。私もこれからの三年間で、自分の目標をしっかりと達成できるように頑張ろうと思います。

高一の夏、今思うこと

岡山操山高校一年 熊谷舞佳

今回この原稿を書くという事で何を書こうか考えたのですが、作文や感想文が苦手な私にはなかなかいいテーマが思い浮かばず、どうしたものかと数日悩んでいました。

それでも書かなければならないものは書かなければならぬいし、今回の原稿を書き終えてもまた次が来る、そう考えようという私はこの原稿を自分のためになるものにするにはどうしたらよいかと考え、今現在の目標を文字にすることにします。こうしようと思った理由は、「目標は自分の心の中で思っているだけではだめで、文字に表したり言葉に出したりすることが大切だ」という話を思い出したからです。ということの前置きが長くなりましたが、本題である高一の夏に考えている目標を文字に表してここに記したいと思います。

高校生活が始まって早四か月が過ぎました。新しい生活にも徐々に慣れ始め、とても忙しくとても楽しい、充実した生活を送っています。今現在の私の目標は三つあります。まず一つ目は、部活動を最後までやり遂げることです。私は中学時代正規の部活動に所属していなかったため、中学生活より忙しく大変になった高校生活の中、部活動を最後まで続けることができるかまだ少し不安が残っているのですが、自分が決めた以上は最後まで楽しんで一生懸命取り組みたいと思います。二つ目は様々なことに意欲的に取り組みことです。「どんなことであれ経験することはこれからの人生で大きな財産になる」と、最近私は思うのです。なので、少しでも自分の興味のあることには挑戦し将来や

らなかつたことに対する後悔を残さないように日々生活を送りたいです。そのなかの一つとして今一番興味があることが外国への研修です。私は外国に興味があるのですが一度も日本から出たことがないので、積極的に海外への研修に参加する機会を見つけないかと思っています。三つ目は進路を決めることです。今のところ教育学部に興味があるのですが、細かい学科や大学は決まっていなくて、しっかり調べて自分が納得できる進路を決めたいと思います。今回、ここに目標を記したのでこれからの高校生活でこれらを実現できるように日々頑張っていきたいと思っています。また、これからも増えていく目標もきちんと文字に表して実現できるように努力していきたいと思っています。

疾走、一宮ガール！

岡山一宮高校一年 守 時 優 里

日中の蝉の音、夕方の蝸のなき声は夏休みの終わりを告げているようだ。

四月の入学式から慌ただしい毎日が続き、この原稿を前

に、今ちよつと一学期をふり返つてみる。私は、毎朝六時三十分家を出発し、赤穂線の満員電車にゆられ西河原駅で降り、自転車疾走すること三十分で高校に到着する。

入学式当日は、挨拶のリハーサルのため皆より一時間早く登校。翌日からは学校へ八時に登校する予定だった。しかし、その日自転車に乗ろうと鍵を探したが見つからず、私は駅から学校まで約五キロメートルのランニングを余儀なくされた。学校に着き、急いで職員室に入ると先生方の注目を集め、「入室許可証」の第一号を取得することとなった。学区で通学で、友人のいなかった私ですが、この二日間の試練でクラスメイトに名前を覚えてもらい、現在の楽しい高校生活のスタートにつながった。

私の通う理数科は、文部科学省の指定を受け、色々な研修を三年間に渡って受けることができる。一学期には、小保方さんで有名な理化学研究所、大阪大学での模擬授業、二泊三日の蒜山高原研修などに参加した。どの研修も、とても興味深く、私の進路決定に役立つものばかりだった。

家では、毎日授業の予習、復習、提出物に追われ、睡眠時間も自分の好きな読書や音楽を聴く時間もとれなかった。そんなある日、たまたま通りかかった居間から「応援団のメール」が聞こえてきた。それは「あすなる三三七拍子」という番組だった。本を読むと、現代の大学の統廃合を背

景に、消滅しそうな応援団を通して、人の生き方や家族の在り方など、心の結びつきをテーマにしたものだった。勉強の大切さはよく理解しているが、仲間や家族を大切に思う気持ちも、さらに育んでいきたいと思った。私の第二の家族は、クラスの仲間や八正会で支えてくださっているメンバーだ。皆のエールに応えられるよう、これからの高校生活を、さらに広い視野にたって努力していきたい。

明日から、また慌ただしい毎日がスタートする。二学期は、少しでもゆとりの時間がつくれるよう、要領よくまた学校や社会の情報に耳を傾け、よりよい選択、行動力で、自分を磨いていきたいです。『今、何が求められているか』を考えながら、自分の役割、自分に出来ることを少しずつやっていきたい。

二学期は、良い意味での注目を集められるようにしたい。

高校生活とスマホ

岡山城東高校一年 濱田実苗

高校に入学してからもう四か月が経とうとしています。

中学校のときは変わったことと言えば、徒歩通学から自転車通学になったこと、給食がなくなったことなど、色々ありますが、自分の生活に一番強い影響を与えたのは、スマホの存在だと思います。中学校のときまで持っていた普通の携帯では、必要最低限のメールと電話に使うぐらいだったので、日常生活の中で使う場面はそれほど多くありませんでした。でもスマホがあればメールや電話はもちろん、その日の天気やニュースも簡単に調べることができ、SNSなどの付加機能を利用して人間関係を広げることがもできます。スマホを持ちはじめたばかりのころは、初めて見るたくさんさんの機能にただただ感動して、自分ももう高校生なんだと嬉しい気持ちでいっぱいでした。しかし、使うことに慣れていくうちにどんどんスマホに費やす時間が多くなってしまい、学校の課題を後回しにしてしまうこともよくありました。その結果、第一回の定期考査では得意な英語以外はほぼ平均を下回るという悲惨な結果に終

わかりました。本当にショックで、その時からスマホとの付き合い方について考えるようになりました。そして、第二回の定期考査のテスト週間に入った時、「前のようにスマホに勉強時間を奪われたくない」と思い、勉強するときには親にスマホを預けようと決めたのです。そうすることで勉強の効率が上がり、ほとんどの教科で平均を超えることができ、何より苦手だった数学の点数が十点も上がったことがとても嬉しかったです。そして私が高校に入学してから、つまりスマホを持ってから四か月経つ今思うのは、「スマホは便利で楽しいものだけど、使い方をよく考えなければいけない」ということです。三年生になって大学受験を迎える前に、一年生の今、スマホとの正しい付き合い方を身に付け、本当の意味で充実した高校生活を送れるようにしたいです。

高校生活

瀬戸高校一年 榎原勝也

僕は高校に入学してから四ヶ月ぐらいがたちました。高

校生活には、もちろんもうなれてほとんど困ることなく学校生活を送ることができています。でも一つ心配なことがあります。それは勉強です。高校では、しっかり予習復習することが大切ですが中学校ではしなくてもいいのでその習慣がありませんでした。四ヶ月がたち予習復習にもなれてきたのですが、毎日完璧にできているかと言えば、できてない日のほうが多いと思います。僕は野球部に所属しています。部活動には、とても一生懸命取り組むことができます。ですが平日などは部活動で帰りが遅くなり、朝も早いのでつかれてしまつて、「今日はもういいか。」と思い勉強をせず寝てしまうことが多いとこの入学してからの四ヶ月をふり返ると思いました。

高校生活での目標は、部活動と勉強の両立をすると決めていたのですが、実際に生活を送ってみるととても難しく今自分がその目標に向ってがんばってはいるけど、達成できていないとは言えません。

この四ヶ月間で勉強に関してふりかえてみて一番の反省点は、提出物の提出状況が悪いところとです。毎日コツコツせず中学校と同じようにためて一気にやっている高校では、とても一気にできるような量ではなかったのだ、提出期限をすぎて提出するということが多くありました。

僕はこの四ヶ月間の反省からこれからしていかないといけないと思つたのは、毎日コツコツと物事をしていくことだと思ひます。これは、勉強に限つたことではないけど、自分はまず勉強でこれを実践していきたいと思ひます。

お兄ちゃんは今高校二年生なのですが入学してからあつというまだつたと言つていました。なので僕はこの高校生活を後悔しないように毎日を大切にして勉強も部活動も全力でがんばつていきたいと思ひます。

英語の勉強

明誠学院高校一年 黒田尚輝

僕が高校生になつて一番楽しんでゐることは英語です。

中学生のときよりも今の方がはるかに楽しいです。多くの単語や熟語を勉強して、いろいろな種類の英文を読むことができるようになりました。そこで、次に身に付けたいものは速く読む力です。英語のテストで読むのが遅くて困つたことが何度もあります。だから、もっと速く読めるようになつて良い点をとりたひです。教材として使つてゐるの

は「毎日ウィークリー」です。内容も興味深いものばかりでも楽しいです。暇があるたびにそれを読んでみます。でも知らない単語がけっこうあつたりするので、「だいたひこんな感じの意味だろう」と推測して読み進めていきます。勉強してゐると思つてゐないのでいい感じですよ。最終的にはあまり止まらずにどんどん読んでいけるようにしたいです。英語の楽しい所は自分の国とは違ふ言葉を書いたり読んだり聞いたりすることができるとだと思ひます。あと英語で会話してゐる日本人はともかっこいいですよ。僕も英語の勉強をがんばつていつかスラスラしゃべれるようになります。そのために僕は口で言うことにしています。発音とかめちやくちや下手ですけどしゃべらないと上手くならないのでどんどん口に出しています。外国の人としゃべれたらいろんな考えに触れることができると思ひます。

最近思うこと

倉敷青陵高校二年 蘆原 薫

入学して一年が経ちました。最初は右も左も分からず、予習・課題・復習といった「黄金のサイクル」というものとはかけ離れ、テスト地獄でもう嫌だ…と思っていました。が、なんとか一年のりきりました。そして、進級してクラス替えが行われ、新しいクラスに入ると、まちうけていたのは男子の多さ。私は男子と話すことが苦手なので、最初はずっと元同級クラスの友達に「もう一年のときのクラスに戻りたい」とばかり言っていました。しかし、授業やLHR、委員会などである意味強制的？に話さないといい機会が増え少しずつコミュニケーションを取っていくと、優しい人やおもしろい人など、みんな個性豊かで、授業以外でも少しづつ話せるようになりました。

また、二年になって、部活に初めての先輩ができました。初めは、どうコミュニケーションを取れば良いのか分からなくて、名前もあまり覚えられなくて、遠い存在!?!になっていたので、今はだいたい顔と名前が一致するようになって、部活の内容だけでなく、雑談もできるようになりました。

した。これからの活動をより有意義なものにするために、もっと積極的に行動していきたいと思います。

今、ここまでの文を読み返すと、どちらもコミュニケーションのことにについてで、自分は本当にコミュ症っぽいと思います。三年になってもこの話題を書かないように、克服できたらいいなと思います。

そして、毎回多額の奨学金をありがとうございます。

中国大会

玉島高校二年 宇野美咲

私は弓道部に所属しています。四月二十七日に行われた岡山県高等学校弓道大会で、女子団体が五位入賞し、中国大会への切符を手に入れました。そして、六月二十日、二十二日に山口県で行われた中国高等学校弓道選手権大会に行ってきました。

中国大会に出場が決定したときは、嬉しさより先に、信じていることができなかったです。でも、先輩が泣いている姿を見て、やっと「ああ、山口に行けるのか」という実感が

沸いてきました。また、この県予選会である試合で三年生の先輩は引退する予定だったので、引退をのばせたことが何よりも嬉しかったです。

中国大会の前日まで、三泊四日で北海道へ修学旅行に行っていたので、練習も十分にできず、体も疲れきっていたしとても不安でした。一日目は試合会場での公開練習があり、少しだけ感覚を取り戻すことができました。その後はホテルに帰ってぐっすり眠りました。

そして試合本番の二日目、タクシーで会場へと向かいました。もうすでに他の高校の生徒達がいてゴム弓（ゴムでできた練習用の道具）で練習などをしていました。そんな高校がすごく上手に見えて不安になったけれど、今まで練習してきたこと、乗りこえてきたことを思いだして、自分に大丈夫、大丈夫、と言いきかせていました。

そしてとうとう試合本番、いつも試合ではあまり緊張しないので、いつもみたいに平常心を保とうとしました。でもやっぱりいつもの試合とは雰囲気がるで違い、射位（射つときに立つ場所）に入っても足の震えが止まりませんでした。結局、思うような結果を出すことができず、予選敗退という結果に終わりました。試合が終わったあと、悔しくて悔しくて涙が止まらなかったけれど、団体のメンバーでここまで来ることができて本当に良かったです。

来年は、今の二年生全員で中国大会に出たいです。だから、今から精一杯練習を頑張ろうと思います。そして、試合本番でも平常心を保ち、表彰台に立ちたいです。

忙しい日々に乾杯。

倉敷青陵高校二年 岩田真央

〃〃〃どうしてこんなに忙しいのか〃〃私は夏休みに入ってつくづくそう感じる。部活の合宿があつて、二日続けての試合。課題をしたくてもついつい寝てしまう夜。私はもとから忙しくてきびきびした毎日を送ることに魅力を感じて、これまでそういう日々を楽しく過ごしてきた。しかし、今のありのままの生活の感想を述べると、〃おいおい、いつ休めばいいんだっ〃という言葉がまずでてくる。まだ癒されていない疲労が、そのまま連日たまり、今私は五分でもありやすぐに寝られる自信がある。

そんな日々を送り続けているうちに、私はある一つの利点を見つけた。それは、カラオケが今以上に楽しいことだ。くだらないかもしれないが、〃カラオケ〃というストレス

発散法は、私の中では一番大切に思う。忙しくて頑張り続け、息詰まった日々を送る者にしか味わうことのできない解放感を私は今だ！というときに存分に味わう。

私はこの日々を嫌に感じ、投げ出したくなる時もあるが、長い人生で今しか経験できないものだ、と思いながら、なんとかやりくりしている。また補習が始まれば、文化祭の劇の特訓も始まり、さらに大変になると思う。だから、いつもただ頑張りすぎることなく、自分なりの休みもとりながら、一日一日を大切にしていこうと思う。忙しい日々には乾杯。

you were here

岡山東商業高校二年 合 田 紗 也

最近のことを書くこうと思いましたが特にパツとしたことがないので、私の好きな「音楽」について話したいと思います。

みなさんは、BUMP OF CHICKENというバンドをご存知ですか？最近よく取り上げられているので知っています。

人も多いかと思えます。昔からよく聴いていて大好きなバンドで、いつかライブに行く。と決めていて、その夢が六月に叶いました。ドームだったのでステージからは遠かったのですが、アリーナの前の方で見れることになりました。始まる前まで本当にBUMPに会えるんだ、という実感が湧かなくて、待ちに待った開演の時、照明が暗くなって音が体中に響いて鳥肌が立ちました。メンバーが曲を演奏していて「ああ、本当に会えたんだ」と思うと涙が出ました。等身大の意思を鳴らし続ける彼らに私たちは手を伸ばし続けました。想いの冷めない距離をこの日、改めて確認できた気がします。

BUMPの今回のツアーを実施中に書き上げられた曲がある。とツアーの終わりに発表しました。その曲を聴いて感動しました。「また会いたい 会いたいよ もう会いたい 会いたいよ 君がいるのにいないよ 君の昨日と明日に 僕もいたい」思っているのはファンの人だけじゃないんだ、メンバーも同じ気持ちなんだ、と思いました。それと同時に、何で過去形ってこんなに切ないんやろう、とも思いました。

唯一の楽しみが「ライブに行くこと」で、今まで色々なライブに行きました。音楽は本当にすごいです。自分の知らないことを見せてくれて、親や先生、大人に言われても

反抗の目で見てしまうことを音楽を通すと、すんなり心に染み込みます。嫌なことを忘れさせてくれて勇気をくれる。そんな「音楽」が、私は好きです。

修学旅行の振り返り

岡山朝日高校二年 濱 田 恵理香

期末考査の直後ということもあり、準備を楽しむ時間は少なかつたものの、二泊三日東京での修学旅行を満喫してきました。

新幹線で東京へ。デイズニールランドではダンス部のみんなとマウンテンを制覇しました。おそろいのTシャツをアレンジしてはしゃぎました。いつも課題や予習に追われ時間を気にする日々から解放され、自由に楽しむことができ、最高の思い出となりました。ホテルでもいろんな部屋を歩き来し友達と語り合いました。

二日目は東京大学を訪れ、東大生に直接質問できるといふ貴重な経験をしました。モチベーションをあげることもつながり、よかったです。午後は原宿などで買い物をして

て夜は舞台をみました。充実した一日を過ごしました!!

そして最終日。クラス別行動で私たちのクラスは東京スカイツリー、浅草、築地とたくさん場所をまわりました。浅草では芸能人に会うことができたり、築地では苦手な刺身を食べたり、普段とは違った体験ができました。あっという間の三日間、思いっきり楽しむことができました!

高校生活もほとんど残りが少なくなってしまう。遊ぶときは遊び、勉強するときは勉強。しっかりとメリハリをつけて部活や文化祭に力をいれながら高校生活を悔いのないものにしていきたいと改めて思いました。

夏の大阪遠征

倉敷古城池高校二年 吉 川 智 也

僕は八月四、五、六日の三日間、部活動の行事の大阪遠征に行きました。場所は金光藤蔭高等学校でした。朝から夕方まで集まった他校と試合を行いとてもハードでした。

どこも県大会ベスト4からベスト8の実績を持っており強豪校でした。ですが自分はとても嬉しかったです。普段

試合をしているチームと比べて身長が高く、スピードがあり、そして何より一人一人の戦うという意気込みが違いました。いくら点を取られてもすぐに切り替えて、「自分が点を取る！」という一つのプレーに対する責任感が目で見れたと思います。

昨年大阪遠征に行ったけど、先輩という責任がなかったために、あまり遠征で気付かされた事はありませんでした。しかし、今年は何か一つでも多く大阪で学び岡山に持って帰った後、練習や普段の私生活を見直して、一日一日の日々に合わせて自分も一歩ずつ変わっていきけるように、これからもバスケットを続けていく上で、自分や人のために役に立つ何かを見つけていきたいです。

見ると解釈

岡山操山高校二年 佐伯 拓馬

自分は今、他人に見られると同時に見ている環境にある。家においてもインターネットで物を買えば、それを発送するのにそのサイトや運営している会社に登録していた住所、

名前などがすぐに分かる。遠くに存在する企業の歴史、資本金等を調べることができ、近くに居ようが探偵や監視カメラを用いて知りたい情報について知ることができる。

自分の経験や知識のために本も少しは読むようにしている。野球をしていてもスター選手の独自の哲学などを本から得て、活用している。その中で指導者は見ると同時に見られる立場であり、特に見ることをするものだという言葉があった。我々は一日の中で寝ている時以外は見るという行為を行うが、この言葉の見るという意味ではないと思う。

どのスポーツでも監督というのは選手を百パーセント活かそうとしているだろう。だから、「見る」ことはしている。かといって、あの言葉とは違う。その理由はあくまで「解釈」という意味が見るとして、あの言葉に含まれていないからだ。人間には全てを使いこなせるわけではない。つまり、少しのミスやエラーはある。見ることをしていても理解して応用するのはこの歪みを大きくするものだ。いわば少数のかけ算でかければかけるほどゼロより大きければ小さくなる。自分の「解釈」では「解釈」とは常に変化し、「見る」ことと同じで違うもので互いは独立をしているものと今は思っている。自分の中で「解釈」は能動的で見ることは受動的と思っている。だから、見ることは干渉しようとならないが、されることはある。

つまりはあの言葉を言った指導には「解釈」を上手く使っていて、上手く使いこなしていると思う。この使いこなしている者が死ぬ時は人生を「見る」ことをして、「解釈」を止めた時であるとも思う。どの「解釈」も時とともに変わるだろう。

高校二年生になって

岡山芳泉高校二年 安井 佑果

私が高校一年生のとき、一コ上の先輩はテストや授業の教科が増えて勉強が大変そうだったり部活では後輩の手本となつて一生懸命頑張っていて「うわー、絶対私には無理だろうな。」と思っていた。

そんな私が今、普通に高校二年生になって普通に生活しているから、昔の私からすると本当に驚きだ。

確かに勉強も部活もとても大変だ。勉強面ではとにかく暗記することが今までの倍以上になったり、課題の量が増えてつもなく多かったり、予習にとっても時間がかかるようになった。毎日、勉強のことばかり考えないといけなくて逃

げ出したいなど日々思っていた。でも、そんな中でも周りの友達は今明るく頑張っていて成績も一年生の時よりもぐんと伸びていた。自分がとても情けなくなつた。このままだったらあとから絶対に後悔するだろうなと思った。なので今、私はまだまだ精神的に弱いところがたくさんあるが少しずつでも勉強が身につくように頑張っている。

部活の面では先輩が入ってきて最初の方は心に余裕がなくなつてしまつていた。女子の後輩は二人だけでとても少なかったが二人ともばりばりの経験者で高校からバドミントンを始めた私よりも上手だった。なので教えることが何もなく少しみじめな気持ちだった。しかしある日ふと先輩のことを思い出して先輩達は上手い、下手関係なく一生懸命頑張っていてそれだけで十分かつこよかったなと気づいた。だから私はとにかく毎日の部活に毎回全力でのぞんで一生懸命頑張ればそれだけで十分だ、と思えるようになった。無理にかっこいいところをみせようとしなくていい。今の自分にできることを精一杯やろうと思う。

二年生は一年生の時より苦しいことやつらいことが倍になつた。でもその分楽しいことや充実感・達成感を感じることも増えた。友達との仲が以前より深まり、本音で話せるような友達が多くなつた。部活もしていてペアのためにチームのためにも頑張らなくてはいけなくて強いが強くなつ

た。友達の輪が広がってたくさんの人と遊ぶようになった。その他にもたくさんある。

私はあとからこの二年生としての一年間を振り返って後悔することがないような一日一日を過ごしていきたい。そして来年は受験生なので今から自覚をもって日々精進していこうと思う。

インターンシップに行ってみて

岡山工業高校二年 高橋 聖

私はこの夏休みインターンシップという初体験をしました。インターンシップは職場体験みたいなもので四日間行かせてもらいました。私が行った会社は、印刷会社でした。八時前に出勤して、掃除をして、九時くらいになったらミーティングが始まって一日の仕事のやることとか昨日の反省とかを言っていました。それが終わると作業するのですが、一日目はパソコンでイラストレーションソフトを使って年賀状を作りました。二日目は製本の作業でひたすらのりを使って背になる部分をはっていききました。三日目は一日目

と同じでパソコンを使って私の行った会社の広告づくりをしました。あと文字校正もしました。四日目は二日目と同じことをやりました。四日間、会社に行ってやった作業は普段学校ではやらない初めての体験ばかりでもとてもおもしろかったです。それに昼休憩と三時のおやつがあつて、昼休憩にはみそ汁がでてとてもおいしかったです。それに毎日違う具なので全然あきなかったです。あと社長さんは色んな事を教えてくれました。社会に出て必要なこととか日頃の生活で必要なこととか色んなことを教えてもらえて本当によかったです。ためになりました。最初はとてもいやで行きたくないと思っていたインターンシップだけ但实际上行ってみれば思ってたより楽しかったし学校では学べないこととかたくさん学べたと思うので、行って良かったと思いました。

二年生になって

倉敷古城池高校二年 酒井 彩 夏

私が二年生になってまず感じたことは、授業のスピード

が早い、ということですが。一年生のときと比べると、ものすごく早くなったのでびっくりしました。特に数学の授業では教科書の問題を解く時間も無く、先生がどんどん説明を進めていきます。私は、数学が好きで得意だったのでですが、あまりにも授業が早すぎてついていけなくなりかけました。今は、早いスピードにも慣れてきたので頑張って授業についていきます。でも、この早い授業についていくために、ちゃんと予習をして授業を集中して聞くことを心がけています。これからも、慣れてきたからといって気をぬかないように、継続していきたいな、と思います。

私は、二年生になって六月に修学旅行で関東に行っていました。私が雨女ということが影響したのかどうかは分かりませんが、残念ながら四日間とも雨が降りました。折りたたみ傘は大活躍しましたけど…。それはさておき、私はこの修学旅行を通して大事なことを学ぶことができました。まず、時間を守ることに、五分前集合の大切さに改めて気づきました。自主研修があつて集合時間が決められているとき、五分前集合をすることで次の移動の指示を早く聞くことができ、スムーズに行動することができました。一人一人が気をつけることで、他の人に迷惑をかけることもなくなりです。これからも、五分前集合をすることを心がけています。そして、もう一つ。毎日あたり前のように一緒に

いる、友達がいることの大切さを実感しました。私がこの修学旅行を楽しめたのは、友達がいたからだと思います。友達と一緒に過ごす時間は、本当にかげがえのないものだな、と思いました。これからは、今まで以上に友達と一緒に高校生活を楽しみ、いい思い出をたくさん作りたいです。もちろん、友達も大切にします！

最後に、二年生でも勉強や部活、文化祭や体育大会など色々な事に全力で頑張ります。

修学旅行にて

岡山朝日高校二年 藤原淳平

早いことに高校生活も残りもう半分位になってしまいました。来年受験生にもなるので勉強もしつっしつかり楽しんでいこうと思います。

さて今回僕は何を書こうかと悩んだ結果七月上旬にあった修学旅行について書こうと思います。行き先は東京でした。

修学旅行で思ったのは、東京は自分がしたいと思ったこ

となどをすぐにしやすい所なんだなということ。自由行動の時に地下鉄で迷子になりそうにもなりましたが、路線を知っていれば地下鉄はすごく便利なものだと思います。また、街ごとに結構店などの種類もわかれているように思えて面白かったです。ただ、どこもかしこもたくさんの方がいて精神的に疲れやすいような気がしました。

また、大学訪問では工学部の先輩に大学のことや先輩が行っている研究のことなども聞くことが出来ました。夏休み中には聞いたことを参考にして自分が将来したいことを考え志望校をしっかりと調べ具体的な目標にしたいと思いません。

まとめとしては、人生でたぶん最後の修学旅行を大変楽しくかつ有意義に過ごせてよかったです。東京へ行ったのは初めてではなかったのですが、今回は友達と話し合っ行って先を決めたので、色んなおもしろい所に行けました。本当に行けてよかったです。

目の前の課題

瀬戸高校二年 檜原大毅

最近入学したように思う高校生活も二年になり修学旅行も終わりました。そんな中僕が一番不安に思っている事は自分の将来についてです。その自分の将来につながるべく勉強がとても心配です。

僕は今野球部に所属しています。入学するとき僕は高校では、入部するであろう野球部と勉強の両立をしていきたいと、一番にその事を挙げていました。ですがそれが中だるみと言われる二年生の一学期に出ってしまったのではないかと自分でも思っています。

この間終わった一学期を自分なりに振り返ってみて、部活は毎日しっかりとっていて、勉強の方ではあまり集中できていなく、提出物なども期限に遅れたまま提出するなど、自分の気持ちの面で「今日はもうええは」とか「明日から頑張る」などと自分に言いかけ勉強に対して向き合わず、逃げてばかりしていました。一回自分の気持ちの中で「明日からまた頑張ろう」などと考えてしまうとそれが毎日のように繰り返されて行きとり返しのかからない事になるかも

しれません。なのでこの夏休みに入る前少し自分なりに一学期どうだったかを振り返ってみました。その結果がこのような内容でした。

そこで僕はこんなことを考えてみました。それは「目の前の課題を一つ一つ達成していく」ということです。これはどんな場面でも当てはまると思います。例えば僕が一期おろそかになっていた提出物です。ちょうど今夏休みです。どこの学校でも出されている夏休みの課題です。誰もが思う事「課題が多い」みんなそう思っていると思います。僕は毎年七月中に全て終わらすという気持ちでいます。ですがそれは野球部である僕には中々厳しいことです。なので僕は思いました。毎日コツコツやっていけば終わると。なので夏休みに入る前に課題を配られる教科もありました。なので夏休みに入る前から取り組んでみました。すると課題が結構終わっていき一つずつ終わっていくたびに達成感があり気持ちよかったです。なのでこの調子で進めていきたいと思っています。

このように、一気にやってしまおうと考えると途中で気持ちが折れいいことにはなりません。なので勉強でも部活でも、「目の前の課題を一つずつクリアしていく」ということを二学期にはやって行きたいと思っています。

お城への果てしないあこがれ

倉敷天城高校二年 水川 碧

先日、「世界の美しいお城」という雑誌を買いました。今回は、そのお話をさせて頂きたいと思います！

そもそもその雑誌を購入したのは、私が西洋の古いお城などにとっても興味を持っているからでした。中身は色鮮やかで美しいお城の写真とその説明、アクセス方法や開館時間など役立つ情報満載で、私の足は当然のようにレジへ向かっていました……。

さて、この本は人気の高いお城が五十一件紹介されていますが、私の中で気に入っているのはフランスにあるユツセ城というお城です。この本によるとユツセ城は童話、「眠れる森の美女」が生まれた舞台であるようで、今も城の手前にある礼拝堂で結婚式を挙げるカップルも多いそうです。確かにこんな雰囲気のある美しい場所で式を挙げたら幸せだなと思います……！私はユツセ城の写真を見た瞬間、この素敵なお城に釘付けとなりました。先ほど述べたように、私はお城が大好きです！勉強で疲れて嫌になったとき、美しいお城の光景は私を癒してくれます。そんな

な私に更なる愉悅を与えてくれるのがこのユツセ城という訳です。もし今、訪れることができるなら、私は恐らく失神するでしょう。それほどまでに魅力を与えてくれるお城。私は自分その魅力から逃れられそうにありません。

最後になりましたが、読み辛い文章にここまでお付き合い頂きありがとうございます！

最近の出来事

玉野光南高校二年 三宅 晟

今年の光南のフェンシング部のインターハイ出場メンバーは、三年生の男子と女子の二人でした。インターハイは八月の始めにあったのですが、この八月の四日に、なんとその男子の先輩がある種目で四位をとりました。日本代表もいっぱいいる中で、全国で四位の戦績です。今まで僕はこんなすごい人に教えてもらっていたのかと驚愕しました。そしてこれで光南のフェンシング部は、十二年連続インターハイ出場、五年連続ベスト8になりました。そうです、すごいプレッシャーです。この連続記録が僕達の代にかか

っているわけです。

今、僕達は大事な時期にあります。インターハイも終わったので、僕達二年生にほぼ代替わりをするのです。三年生が減ってから、皆何というかふわふわした気持ちになっているところがあります。九月か十月に新人戦があるので、このままではいかんと思いつつも、何も変えられずいます。だから八月中にはもつと新人戦に向けた空気を作っていたいと思っています。

そして、代替わりしてから今一番悩んでいるのが、部長を誰にするかということです。二年生は、僕を含めて四人しかいないのですが、なかなか「こいつだ!」といえる人が決まらず、ずるずると引きずっています。四人で部長(仮)を回してやったのですが、一つの集団をまとめるというのがこんなに難しいとは思いませんでした。しかし今月中には決める予定です。

ここで忘れてはいけないのが、やはり勉強ですね。実は二年生になった今でも、毎日の勉強を定着させられていません。このままではやばいとは思っていますが、実際に行動にすることが出来ません。だからこの夏休みでどうにか身に付けようと思います。

部活も勉強もしっかりとやって、九月から新しい気持ちで学校に行きたいです。

失敗と反省

岡山一宮高校二年 河本 柚月

ダラダラ何もせず日々を過ごしていると、やまびこの原稿に何を書いているのかわからなくなりました。せつかなので、今回はそれについて書くと思います。

さて、書くことが無い。そう思っただけで考えたのは学校生活について書くということ。しかしこれは逆に難しい。これはものすごく難しい……。あまりにも普通に過ごしているためか、家に帰るとすっかり学校での記憶がないのです。楽しかった、おもしろいというのはちゃんと覚えていられるのですが、何をしたらかがさっぱりです。たまに覚えていても実にとりとめのないことで、いざ書くとなるとひどくつまらない気がしました。そして没。そういえば修学旅行とかあったな。まとめきれない。没。

次に考えたのは好きなものこと。サカナクシオン、セカオワ、ゲス乙女。とラッド、クリープハイプ、バンブ、IA、等々。泉鏡花、萩原朔太郎、坂木司、西尾維新、綾崎隼、京極夏彦、紅玉いづき、等々。月吠、ハチ、ミツフイー、等々。……知らない人が聞いてもさっぱりだと思

います。もつとあります。しかし、割愛。前半（最初の『等々』まで）はバンドなどアーティストの羅列なのですが、これらはもう原稿の途中で某黄色い非公認キャラクター化すること必至。この時点で半暴走中。まとまらないので没。しめが無いのでやめておこうと思います。非常に残念……。

ここでひとつ気が付きました。私は今、最も恐れていた状況にいます。それはもちろん『まとめがない』『オチがない』というコースを一直線に突き進んでいること。なんと愚かな。まずい。これはまずい。どうしよう。文の書き方が姑息になってきました。

今回の作文を通して私が学んだことは『無計画はやめよう』ということでした。心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書きつくればあやういことものぐるほしければどうあがいても人目に揃せるものになりませんでした。今回の失敗をふまえて、次回はもつと早くとりかかろうと思います。ちゃんと計画を立て、構成を考えます。そしてまともな作文を提出できるようにしたいです。

背高女子あるある（多分）

岡山芳泉高校二年 黒 住 美恵子

私は見ての通り、背が高いので困る事がよくあります。まず頭をよくぶつけます。電車の一部のつり革、バスの上の荷物おきの所、車のドアの上のどこ、など、痛いのです。さらに、オシヤレにも支障が出ます。ワンピースのはずが、着たらチュニツクみたいになってしまったり、靴はローヒールまたはヒールなしのを選ぶのですが、気に入るのがなかなかありません。他にも、第一印象は大きい以外言われた事はなく、すれ違う知らない人にデカイ、大きいと言われたり、じつと見られたりします。あと、体育祭のフォークダンスでは私より小さい男子だと、腕の下を通る時にかがむ後ろめたくなるような気持ち何とも言えません。こういう事は私の、背高女子の宿命（あるある）なのです。ただ分かっているし、慣れてもいるけど、まだ気にしてしまう時はあります。しかしもう小さくなることはできないし、もう大きくなるつもりもないのでこの身長とずっと付き合っていくきます。ので、ぜひ背ばかり見られず、中身を見られるように内面を磨きたいです。

朝の始まり

岡山芳泉高校二年 松 村 優

つい先日、部活の遠征で尾道まで行ってきました。 newItem ームになってから初めての遠征で何度かハプニングが起こったりもしたけれど、チームのみんなと寝食を共にしてまた一歩成長できたと思います。みんなとバスケが出来て、夜ははしゃいで盛り上がって、とても楽しい遠征でした。さて、今回のやまびこで書きたいことは、私が朝に会うおじさんの話です。私は普段の学校に行く日はほぼ毎日朝練に行っています。そのため、家を出るのはだいたい六時半ぐらいです。私の通学路に旭川大橋が含まれていて、きつい坂を登らなければ学校に行けないのですが、そこらの周辺で約六時四十五分頃に遭遇しないほうがめずらしいおじさんがいます。スーツ姿でめがねをかけていておそらく五十代です。私がおじさんに毎日会っていると気付いたのは去年の九月あたりだったと思います。夏の暑い日も雨の日も冬の寒い日もおじさんとは会いました。毎日おじさんに会っていると、橋の上にとり着いた時に今日もすれ違うのかな、と自然と思うようになりました。そして同

時におはようございます、つて一言言いたいな、と思うようになりまして。そして最近、変化が起きました。おじさんからおはようございますと声をかけてもらいました。一度目に私は返事を返せませんでした。次の日の朝も同じようにおじさんに声をかけてもらいやつとあいさつを返せました。それから毎日あいさつを交わすようになりました。ほんのつい最近のことです。すれ違うということだけで繋がりができるなんて不思議だなと感じます。私の朝はこのようなことから始まります。

最後に、夏休みも後半に入ってきました。大量に残っている宿題が終わるか心配ですが、まわりの人への感謝の気持ちを忘れず、残りの夏休みに全力を注ぎます。

出会い

岡山城東高校三年 難波千里

人との出会いは一期一会だと思う。また、同時に奇跡だと思う。

私が八正会の一員になった時、小さな奇跡が起こった。

また同期の人、みんなにも小さな奇跡が起こった。一人でもその小さな奇跡が起こっていなければ、今の八正会はない。みんなに起こった小さな奇跡が集まって、大きな奇跡を生んだ。こうして、私は八正会の皆さんと出会えた。

私の家族との出会いも一期一会。私は生まれてくる前に、自分の親を選ぶことはできませんでした。私は知らぬ間に生かされていた。でも私は、私の家族がこの家族で良かったと思う。全く世間で言われるような理想的な、幸せな家庭ではなかったけど、私はこの家族で良かったと本当に思います。

人間、生きていれば色々なことがあって本当に忙しく、大変です。でも過去にどんなことがあっても、今は前を向いて生きています。時には落ち込んだり、悩んだりすることもあるけど、それは前を向いて一生懸命に生きていた証拠だと思えます。苦しいことに負けずに、元気を出してみんな前に進もうとしています。でも人は、一人では生きられないから、周りには、友達、家族がいるのだと思います。

ここで特に言いたいのは家族です。家族というのは、離れたくても成人するまでは、ちよつとやそつとでは離れられません。だから嫌々、一緒にいることもあります。でもだからこそ大切に思えるのだと思います。もちろん、普段の生活でそんなことを実感することはありません。でも私

の母はすごいと思います。私がどんなにわがままで、どうしようもない子でも見捨てませんでした。きつと、「もう嫌：(×)」と何度も思わせてしまったと思います。なのにいつも味方でいてくれて、私が本当に辛い時には寄り添ってくれます。そして、色んなことを考えすぎて、私が自分の進むべき正しい道が分からなくなった時には、「もう自分の好きなようにしなさい。あなたの人生なんだから。でも後悔だけはしないで。」と言いました。「私の母がこの人で良かった(×♡)」と思いました。この言葉をくれた時、初めて母のことで心から泣きました。普段は口にしないけど、本当に感謝しています。私が社会に出るまで申し訳ないけど、お仕事頑張ってください。いつも有り難う。

体操人生を終えて

山陽女子高校三年 影 山 姫 花

高校三年生になって四ヶ月ちょっとがたった。少し前に小学校二年生から続けてきた体操を引退した。約十一年間も体操づけの毎日を送っていたので引退するのはとても悲

しかった。最後の大会では試合中なのに同じチームの子と泣いた。今になるといい思い出だ。今までの体操人生のなかで私はたくさんのことを学んだ。挨拶をすることの大切さや、上下関係、何事も基本が大切ということ、時間はあつという間に過ぎていくから一日一日を大切に過ごしていくこと、努力は必ず報われるということ、親への感謝の心、周りの人と協力するということ。このことを忘れずにこれから的人生に活かしていきたい。他にも、体操をしてきたことで集中力や自分を追い込む精神力も身についたと思う。そして何よりこれまで体操をやらせてくれ、支えてくれた母や顧問の先生、先輩、友達に感謝の気持ちでいっぱいだ。体操を辞めておかしいくらいに気が楽になった私だがもうすぐ受験だ。受験といっても今ままであまり勉強に時間をかけていないので指定校でいくつもりだ。だから、あまり追いつめられた感じはなくて勉強はまあ大丈夫だろうと思っている自分と、私がいきたい大学は一枠しかないから誰かにとられたらどうしようか、勉強しなければと思っっている自分がいる。すごい複雑な気持ちだ。早く決まっしてほしい。

大学では英語を勉強したいと思っている。私は外国に興味があり、外国に行つてその文化を学んだり、きれいな場所に行きたい。そして、いろんな知識を蓄積させていき

たい。

将来はキャンビンアテンダントが通訳士になるという夢を持っていて。そのため、英語は話せるようにならないといけない。だから、英語検定の勉強を頑張っている。

高校生活も残り七ヶ月くらいで全てのが最後になる。卒業したら今の友達ともなかなか会えなくなるから毎日を楽しく過ごしていきたい。そして、何事も全力をつくしていきたいと思う。

大学生になれたら

岡山城東高校三年 小林 遥

「大学に合格したら」ということで、私の将来設計を書いていると思います。

まず勉強のほうは、社会学をやりたいと思っています。どんな学問か気になる人は、説明がとても難しいので、調べてみてください。大きくいえば、社会を研究する学問です。

そして、大学に行ったらまずは一人暮らしです。住むの

は、六畳間にキッチン・トイレ・お風呂別、家賃三万円前後の、わりと古めのアパートです。

アルバイトもやります。早朝はパン屋さん、夜に塾や家庭教師です。という話を母にすると、「あんた授業はいつ出るん？」と言われたので、一年生のうちほとりあえず単位をしっかりと取って、落ち着いてからこの体制でいこうと思います。塾と家庭教師はともかく、パン屋さんでバイトするというのは重要なことです。どんなパン屋さんで働きたいかというと、

一) パンがおいしい

二) 売れ残ったパンをくれる

三) ケーキも売ってる

三はともかく、一と二は揃ってはいけません。この話を友達にしたとき、閉店の時に働いてないと、売れ残りはもらえないのではないかとという指摘をされたのですが、早朝でも、昨日の売れ残りがもらえるんじゃないか、などと都合のいいことを考えています。

また、大学というところサークル！どんなサークルがあるのかよくわかっていないので、ここは考えにくいのですが、今のところ料理系サークルを狙っています。自炊の練習もできて、余った材料をもらえて（もらえるかな…）一石二鳥です。大学はクラスのつながりが薄いと聞いているので、

サークルでも入らないと友達ができなさそうというのもあります。

と、色々考えていますが、高校に入る前もこうやって考えた挙げ句（いい方向に）全然違ったので、大学でもそうなるといいなと思います。

そもそも一番の問題は大学に合格できるかどうか。塾にいく電車でこの文章を書いているのですが、冷や汗をかいてきました。がんばります。

最後になりましたが、毎月多額の奨学金、大変ありがとうございました。がんばります。

近況報告

岡山朝日高校三年 久 富 聖 也

今僕は高三の夏を過ごしています。六月にバレーボール部を引退し、受験生モードに入ります。夏休みには今まで部活によって制限されていた時間の分の遅れを巻き返さなければなりません。そのためには効率良く時間を使わなければなりません。過去の反省を生かすことで効率は上がり

ます。

ということでは今回は自分の夏以前の問題点を挙げて今後の勉強の方針を決めていきたいと思っています。

まず、「とりかかりが遅い」ということ。

僕は提出物などに期限があると、期限日直前になって焦って準備することが多かったと思います。現にこの原稿を書いている今も期限直前です。

次に、後に続く問題点を挙げてみたのですが、それらの全てが前述した問題点に帰結してしまいました。

以上のことを踏まえて方針を立てたいと思います。

「とりかかりが遅い」という問題点は、始める時間を具体的に決めていないから生じると思います。

よって、夏休みからは具体的な計画を立てて勉強したいと思います。

最近特別なことがなかったのですが、近況報告というような内容ではないですが、題名が特に思いつかないので近況報告にしました。これからは受験生として頑張ります。

応援

岡山芳泉高校三年 笠 笑 太

七月十九日に芳泉野球部の応援に行った。

芳泉は大学へ進学する人がほとんどで、三年生が部活をしているのも野球部のみだったので、一足先に引退した三年生が大勢、勉強を休憩して野球部三年生の最後の大会二回戦（VS創志学園）の応援に来ていた。自分もその中の一人だ。

野球に関しての知識はほとんど無かったが、応援に来ていた人達と一丸となって声を出し体を動かした。

創志はやはり強くて、試合の中盤に大きくリードされたが、粘り強く攻め続け、最終回に同点に追い付いた。その時は感動して涙が出そうになった。俗に言うとりあえずヤバかった。延長戦に突入し、激闘の末、負けてしまったが、芳泉高校の生徒が声を枯らし、汗を流し、青春を爆発させたあの一時は自分の高校生活において、存在感のある思い出の一つとなった。

もう一つ心に残ったこととして、普段学校ではめっちゃくちゃで騒がしい野球部の友達が一球のボールを真剣に追い、

得点すれば気持ち良いガッツポーズをかかげ、惜敗し、涙に崩れる野球部員の姿にはとても熱いものを感じました。

岡山県大会が終わり、勝ち上がることはできなかったけど芳泉高校は応援団賞をいただくことができ、応援に行っただ一人として心から嬉しかったです。

これからは「最後の」といった肩書きの付く行事が多くなっていきますが、一つ一つを大切に、仲間と最高の思い出を築き上げていきたいと思います。

社会人になるにあたって

倉敷工業高校三年 清水 晃 希

気づけば高校三年生の夏休み、就職活動をする時期になってしまいました。あと半年で一人の社会人になるなんて想像もできません。正直まだ学生をしたいという気持ちが大きいです。社会にでて働くというのは自分の中では少し大人への階段をのぼるという感じがします。そして今までの一日のサイクルが大きく変わることになります。小学生から現在まで勉強が本業でした。その中で部活をしたり遊

んだりバイトをしてました。物心ついたときには一日の中心が勉強というのがあたりまえになっていました。しかし、社会人になれば、今までのあたりまえの生活が大きく変わり、働くということが一日の中心になってきます。まずはこういった生活リズムの変化にしっかりと順応していきたいと思います。会社にはいろいろな人と出会うことになります。年齢も様々な人と一緒に仕事をしていくことになりませんが、コミュニケーションを上手くとり周りの人と良い人間関係をつくっていきたいと思います。それが自分が働きやすいと思える職場にするための一つの方法でもあると思います。また、何年後かには一人暮らしもして二十歳になると全ての責任を自分がおうことになります。今まで親にやってもらっていたことを全て自分でしなければいけません。小さい頃から

「自分のことは自分でしなさい」と言われてきましたが、それが現実味をおびてきたと感じてきています。少しずつ一人暮らしも意識しながら生活していこうと思います。社会にでることに対して不安も期待もあります。何事にも一生懸命に取り組むことを忘れずがんばっていきこうと思います。

日韓対立において考えたこと

倉敷天城高校三年 小西 茜

私は文系で日本史の授業を受けているのですが最近少し不思議に思ったことがあります。それは日韓対立の韓国と日本人の温度差です。テレビで見る反日デモを行う韓国と比べて日本人は政府が日韓問題に対してコメントすることはあっても周りの人々で「韓国は嫌いだ。」と言う人はあまり見たことがありません。それどころか各学校のクラスに一人は熱烈な韓国ファンがいるように思います。テレビのニュースを聞かないと日本と韓国は仲が良い、平和だと思ってしまう。

私が考えたこの温度差の一つの答えは「日本人はおそらく何が起こっているか分かっていないのではないか。」です。テレビで「韓国人が〇〇をした。」「首相、大統領が△△と言った。」という情報は流れているのでそのような情報は知っているが、私はなぜ日韓対立が激しくなったのか? 〇〇いつごろなのか? ということについてはほとんど分かりません。韓国人の人々が「日本が教える日韓の歴史が間違っている。」と言うのを聞きますが何が間違っ

いてどの事実が真実であるのかも分かりません。正直、私は知らないことが多すぎてテレビで韓国人による反日運動を見てもなぜこれほど日本人が嫌われるかを詳しく知らないので現実感がありません。これが韓国人と日本人の温度差なのだと思います。

だから私はこの日韓問題の解決に必要なことはまず私達、若い世代の日本人が日韓対立の本当の原因、歴史を理解することだと考えます。メディアやインターネットでは日本人の観点からしか述べられておらず、それから情報を得るのは不安です。また機会を作って日韓対立について自分で調べてみようと思います。

「俺様化する子供たち」を読んで

就実高校三年 萩 原 萌

私は高校三年生と言う時期になって、新書を読み始めました。二年生の時も一、二冊は読んでいたけれど、私には取っ付き難いものが多くこの時期までずっと敬遠しがちでした。さて、さすがにそろそろ読み始めようかなと思いと

った本がこの「俺様化する子供たち」でした。

この本では最近可笑しいと言われている子どもたちの教育や精神の話です。よく耳にする「学級崩壊」の文字や、子どもたちの精神的不安定さや脆さ、そして頻発に起こる青少年の殺人事件。佐世保の同級生殺害事件が一番記憶に新しいでしょう。このような事が度重なるにつれて、大人は子どもをどう捉えていくか分からなくなっているようです。かつては社会に進めば子どもは自然といい方向へ向かうと考えられていましたが、今では全く違うようだというのを教師や親や地域の大人たちも感じています。作者は「生徒が見えなくなった」と表現しています。生徒が「俺様化」するようになったことで、教師の予想している生徒の理想像から離れてしまったのです。

先日、友人から面白い話を聞きました。いわく、「佐世保の子や神戸の子はサイコパスがあつたのではないか」とサイコパスとは、精神病質者のことを指します。彼らだけが狂っているから、サイコパスがあつたから、このような犯罪を犯してしまったのでしょうか。私はそうではないと思います。村上龍氏の言葉から抜粋すると、人間はもともと壊れているものだからサイコパスのようなものはある。しかし、それを様々な要因が働いて隠してくれている。その要因の代表例は、家族や自身の社会的価値観である。だ

から、彼らを犯罪に向かわせた原因よりもそれを阻止できなかった理由の方が重要である、と書かれています。よきに、私も子供たちの理性の脆さや人を殺してしまうことへの恐怖心に対する欠如が原因であると思いました。

長々と書きましたが、人の命の大切さや重さをよく考えさせられることが多い毎日です。どんな時代もこういう事件はあるのかもしれないけれど、少しずつでもいいから減っていったって欲しいと思います。

国体合宿で学んだこと

岡山工業高校三年 小野 龍 司

僕は、八月五・六・七日の二泊三日で行われた国体合宿に行ってきました。この合宿は玉野光南高校で行われ、岡山県内の高校から選ばれた十五人で練習をしました。

一日目は、午後一時集合で二時から練習が始まりました。この日は、チームディフェンスの練習をしました。しかし、寄せ集めのチームなので上手くコミュニケーションがとれなかったりとこの日はいろいろな意味で疲れました。でも

この夜、十五人でいろいろ話したりと楽しく過ごすことができ、コミュニケーションの問題は無くなりました。

二日目は、午前九時から練習が始まり、チームオフエンスの練習をしました。この日はコミュニケーションはなんの問題もなく、上手く練習をすることができました。この日は、午前で練習が終わり、午後はOFFで夜から国体の成年男子と練習試合をしました。午後八時から始まった練習試合は、成年男子にボコボコにされて負けました。成年男子の選手は、僕たちに比べてフィジカルもスピードも全てのことにおいてすぐくて、僕たちもまだまだだと思いました。そしてこの夜もみんなで盛り上がり楽しみ、どんどんチームという感じができました。

三日目は、午前九時から練習が始まり、この日は、ランメニューですごい追い込みをして、この三日間で一番えらかったと思います。この中で、みんなが声を出して、盛り上げていったことで、みんながこの練習を乗り越えることができ、国体少年男子としてチームが一つになった気がしました。そして午前中で練習が終わり、午後一時解散で国体合宿は終わりました。

この合宿で学んだことは、コミュニケーションの大切さと、どんな練習でもみんなで盛り上げて頑張れば乗り越えられるということです。この調子でもっと強くなって、国

体本番でもいい結果が残せるように頑張っていきたいです。

自分を魅せる方法

創志学園高校三年 小林 桂子

八正会の作文のテーマは、いつも自由なので毎回何を書こうか悩みます。もう進路が決まっている人もいると思いますが、あと少しで受験・就職活動のシーズンなので今回は私なりの自分の魅せ方について書きたいと思います。

皆さんは普段どのように過ごしていますか？常に人から見られているということを意識して行動している人は少ないと思います。私もそうでした。ですが、この夏私の意識が少し変わる出来事がありました。

私は、七月に某お笑い芸人のライブに行ってきました。会場が狭くまた前から二列目の席だったため、大好きな人を近くに感じる事ができた喜びや興奮、いろいろな感情が一気に溢れました。二時間という私にとっては短かったですが、とても充実した楽しい時間を過ごすことができました。

ネタを披露しているときの芸人さんは完全にそのコントでの役を演じていました。普段のトークショーなどでは筋肉ムキムキの男らしい人なのに、コントではかつらをかぶって子どもやおばあさんなどの役をしたり、かっこいい表情からかわい表情までさまざまな顔をみせてくれました。私は、ライブが終わった後に出待ちというものに初めて挑戦してみました。芸人さんは出待ちにも優しく対応してくれたのですが、ネタをしているときは人が違うかのように全くキャラやテンションが違いました。一般的にお笑い芸人のイメージは明るい！元気！面白い！というような感じだと思います。私の中のお笑い芸人のイメージもそうでした。しかし、実際に会ってみると意外とテンションが低くて、ステージ上の姿とのギャップに軽くショックをうけました。芸人さんも私たちと同じ人間なので、よく考えてみれば当たり前のお話なのですが…。

言われてみれば私も無意識に家や学校、バイト先、八正会、さまざまな場面で自分を演じ分けているような気がします。私の場合は、バイト先にいるときが一番明るいですが。例えば、就職するときなどは学歴などより面接で自分をアピールする力を見られると思います。そんなときに自信をもって理想の自分を演じることが大切なのではないかと思えます。

このようにどれだけ自分をよく魅せられるように演じられるかで、人生が決まるかもしれません。

最後に、今年の夏はお笑いライブから始まり、プール、BBQ、兵庫の友達の家泊まり、神戸・京都観光、某アイドルのイベントに楽しいことがたくさんありました。また、バイトも始めて有意義な時間の使い方ができているのではないかと思います。同級生の皆さんが受験・就職活動に向けて頑張っているので、私も次の実習や専攻科に向けて勉強に励んでいきたいと思います。

泣ける本

倉敷古城池高校三年 片山 遥

何か面白いことを書いてやろう…と思いつけていたら、もう夏期研修の前日になってしまいました。そんな性格なので昨年まで、夏休みの課題を最終日まで引きずっていましたが、今年は違います！三日で終わらせてやりました（笑）。

あっ、すみません、話が脱線しすぎてしまいました。今

回書きたいなあと思っていたのは「本」についてです。余談ですが、最近すごく泣きたいなあと思うことがあるんですが、みなさんはありますか？…あっ、ないですよね、すみません。まあとにかく私にはあるんです（笑）。ということで、「泣ける本」について紹介させていただきます。

まず一作品目。小川洋子さんの『博士の愛した数式』です。この作品は読売文学賞、本屋大賞を受賞したので知っている方も多いかもしれません。私は読んでいた途中なので、詳しくは語ることはできませんが、文系でも理系でも楽しむことができます。

次に紹介したいのは、ダニエル・キイスの『アルジャーノンに花束を』です。私は読んだことではないのですが、前々から読んでみたいと思っていた作品の一つです。

このように本の紹介はしたもの、正直高校三年にもなると、オーブンキャンパスや受験勉強で時間が埋まってしまう、ゆつくりと本を読む時間などあまりとれない状態です。伝えたいのは、つまり高一高二のころから、本を読む機会を増やしてほしいということです。好きなドラマの原作から本と触れあうのも良いと思います。

汚い文章ですみません。時間があまりなく雑な文章になってしまいました。次のやまびこは頑張るので期待してお

いて下さい。あつ、やっぱりやめてください(笑)。

受験生になって

岡山芳泉高校三年 小野 雅史

三年生になる前の春休み、僕は「今年は死ぬ気で勉強に取り組む」と心に決めました。しかし、人はそう簡単に自分自身を変えることはできず、三年生になってもしばらくは(正直に言うとも少し)今までのようにただらだらとした毎日を過ごしていました。一、二年生の頃、得意な教科しか勉強してこなかった僕には、現在、大きなツケが回ってきていると思います。だから、後輩の皆さんには今のうちに少しでも多く勉強しておくことをお勧めします。そんな僕が少し自分を変えて、勉強を本気でできるようになったきっかけは六月の模試で第一志望校の判定がE判定だったことです。「E判定はいい判定」とはその通りで、この模試の結果を見て以降、危機感が生まれ、勉強に対する態度も変わってきました。過去、様々な講演や進路指導の話を聞いてもほとんど気持ちが変わらず、変わっても三日坊

主にもならなかった僕は、自分自身を変えることができるのは自分だけだということを強く実感しています。スタートが遅かった自分には第一志望校に合格するなんてとても想像が付きませんが、自分を信じ、支えてくれる人々を信頼し残り約半年間死ぬ気で頑張りたいと思います。

コミュニケーション能力

倉敷古城池高校三年 木田 杏奈

私は、最近コミュニケーション能力について考えることが多いです。なぜなら、将来の夢が看護師になることだからです。看護師は人と関わる職業であるし、大学や専門学校で求められている人物像として、コミュニケーション能力がある人とパンフレットによく書かれています。私は、軽いコミュニケーションです。コミュニケーション障害のことです。コミュニケーション障害…社会などといった対人関係を必要とされる場面で十分なコミュニケーションをとることができなくなるという障害

現代に置いて若者に多く発病しています。しかし、コミユニケーションをとることは、私たちが他人と関わって生活している中で必ず必要となるものです。だから、少しずつ改善していこうと思います。でも、OCに行った時に、講師の方がコミュニケーション能力は看護師になると色々な人と話すので、自然と身に付くものだと言っていました。皆さんもコミュニケーションをとることが苦手だと思ったり、人と話すことに慣れることが大切だと思うので、積極的に色々な人と話して改善していきましょう。

文化祭

倉敷古城池高校三年 井上法子

私の通っている学校では今、九月の初めにある文化祭に向けて全校生徒が準備に励んでいます。中でも三年生はやる事も多く、受験勉強との両立をしなければなりません。時間がない中、焦りや友人との意見の食い違い、うまくいかず、愚痴を漏らしてしまいそうになることもあります。不平をいう前に自分から動く。うまくいかない時、私は

必ずこの言葉を思い出します。先日読んだ本の中で見つけたこの言葉の続きにはこう書いてありました。便利さを追い求め、面倒なことを嫌いがちな現代の忘れ物の一つは、自分が動くこと。自分から動かなければ充実感も満足感も得ることはできません。うまくいかないときこそ自分で動かなければならないことを改めて痛感させてくれた言葉でした。

人に傲慢な態度をとってしまった時、苦しい状況に負けそうな時、そんな自分の嫌いな部分が出てしまいたいそうになった時、この言葉を思い出してほしいです。

高校生活、最後の文化祭を最高の仲間達と最高なものにできるよう、残り少ない時間を大切にしていきたいです。

時は金なり

岡山朝日高校三年 日名 絵里華

今更ですが私も遂に高校三年生になりました。まだ自覚が持てておらず、あと約半年で受験なんて想像もつきません。

今までの高校生活をふりかえってみると、昔憧れていた高校生活とは少し異なるものの勉強面以外では後悔はほぼありません。大学受験の合否発表のあと「勉強面も後悔はありません」と言えるようにするためには一分一秒を大切にして、できる限りの時間を勉強に費やさなければなりません。例えば、友達と話す時間を五分短縮し、その五分を勉強時間にする、六回そうするだけで三十分も勉強時間が増えます。また起床の時間も五分早くするだけで六日間に三十分勉強時間を増やすことができます。三十分でいたい何個もの単語を覚えられるでしょうか。何問もの問題を解くことができるでしょうか。そう考えると、時間はとても大切で、少しでも長く勉強したいと思う気持ちが湧いてきます。

時間はお金ぐらい大切で、時にはお金より大切であることを思いだしながらこれから時間を無駄にせず悔いのない人生を歩んでいきたいです。

平成26年度 夏期研修会日程表

公益財団法人 八正会

8月9日(土)		8月10日(日)		8月11日(月)	
8:50	岡山駅市営駅南駐車場 集合	6:30	起床	6:30	起床
		7:00	朝のつどい (つどいの広場)	7:00	朝のつどい (つどいの広場)
		7:30	朝食	7:30	朝食
		8:20	清掃 ディベート部屋準備	8:20	清掃 8:50 部屋点検
9:00	バス出発 閑谷学校へ	9:00	ディベートについて 講師 西口先生 グループ討議 (視聴覚室)	9:00	ボランティア活動
10:30	入所式 (第一研修室)	10:00		10:00	まが玉づくり (テラス)
11:00	修養団 久世先生 講話・実習 (第一研修室)	11:00			
12:00	昼食 休憩	12:00	昼食 休憩	12:00	昼食 休憩 (視聴覚室準備)
13:00	修養団 久世先生 体験学習 講話 (第一研修室)	13:00	ディベート (視聴覚室)	13:00	感想文 (視聴覚室)
				14:30	退所式 (視聴覚室)
				15:00	閑谷学校 出発
16:00	スタンツ話し合い (第一研修室)	16:00	スタンツ話し合い (視聴覚室)	16:00	岡山着 解散
17:30	夕食	17:30	夕食		
18:30	レク&交歓会 (プレイホール)	18:30	レク&スタンツ発表		
		19:00	(プレイホール)		
		20:30	入浴		
21:00	入浴				
		21:30			
22:00	就寝	22:00	就寝		

2014 夏期研修会日記 < その1 >

平成 26 年 8 月 9 日～ 11 日におこなわれた宿泊研修の内容を紹介します。

8 月 9 日(土)

閑谷学校
入所式
台風接近の中、研修会がスタートしました。



修養団の久世先生による講話と実習。
礼法・作法について学びました。
正座がつかかった～。



昼食後は、体験学習プラインドウォーク。
「怖かった」けど、相手を信頼する心や
相手を思いやる心を学びました。



レクリエーションと交歓会。
レクリエーションの後、自己紹介をして
親睦を深めることが出来ました。



8 月 10 日(日)

ラジオ体操
眠い目をこすりながらの体操で身体のスイッチオン!!!



朝食
毎食、美味しく頂きました。
ラジオ体操の後のゴハンはおいしいです!



八正会 HP にも掲載しています。 <http://www.hasshoukai.or.jp>

八正会

検索

2014 夏期研修会日記 < その2 >

8月10日(日)

ディベートテーマ ①「SNSを使ったコミュニケーションは必要である」は 是か否か
②「18歳の選挙権は必要である」は 是か否か

いよいよ恒例のディベートです。西口先生の説明を聞いた後、6班に分かれて資料をまとめ討議に備えました。



スタンプ発表
今年は、6チームで競いました。
甲乙つけがたいレベルの高い発表でしたね!



討論開始。
立論⇒反対尋問⇒最終弁論と初めて参加した1年生も演台に立ちしっかり発言できましたね。



むちゃぶりされて(?)OBも
スタンプ飛び入り参加!



8月11日(月)

まが玉づくり
地味な作業でしたが、みんな夢中になって思い思いの作品が出来ましたね。



心配していた台風の影響もほとんどなく本当に良かったです。
あっという間に研修会が終わりましたね。
学年を越え、学校を越えて新しい仲間がたくさんでき楽しい思い出がたくさん出来ました。

ボランティア活動
恒例になってきた「石橋磨き」
みんなで協力してピカピカになりましたね。



今年は、大勢のOBOGの皆さんに参加していただきました。
貴重なお話をありがとうございました。
来年もぜひ来て下さいね。待ってます!!

夏期研修に参加して

総社南高校一年 吉 川 朋 之

今回僕は初めて、この八正会夏期研修に参加しました。

行く前は、二年生や三年生の先輩方や違う高校の一年生、知らない人達の中で二泊三日すごして大丈夫なのだろうか。僕は人と関わったり、自分から人に話しかけたり、また、話しかけられても、うまく話せなかったり、等が苦手なで、送られてきた日程表を見て、「ディベート」や「話し合い」等、人と話したり、協力したりすることが書いてあって、とても不安な気持ちで来ました。

でも、先輩方もときどき僕に話しかけてくれて、うまく返事は返せませんでした。少し不安がなくなったような気がしました。

楽しかった行事は、「レク&スタンツ発表」と、「まが玉づくり」です。

「レク&スタンツ発表」では、先程も言ったように、僕は人前に出たりすることも苦手なので、とても緊張しましたが、精一杯がんばることができました。班の人達とも協力して、練習したりして、よかったです。他の班の人達の

発表もとても面白くて、よかったです。

「まが玉づくり」は、僕は、初めてまが玉を作ったので、形はとも悪く、ちょっと傷もはいつてしまいましたが、がんばって作ったので大事にしておきたいです。

その他の行事も、自分のためになることがたくさんあったり、楽しかったり、よかったです。日常生活でも、今回学んだことを生かしていけたらいいなと思います。僕が二年生、三年生になって、何もなければ、また、この夏期研修に参加したいと思いました。次来的时候には、少しでも人と話せるようになります。

夏期研修に参加して

就実高校一年 栗 山 恵 輔

初めての研修で緊張しましたが、楽しくとてもよい、来てよかったです。研修で緊張しましたが、楽しくとてもよい、来てよかったです。

初日は講話で、とてもためになる話を聞かせていただきました。「見る気で見ると聞く気で聞く」「やる気である」を念頭において、実践しようと思います。また、あい

さつなども意識していきたいです。そしてそれらをずっと継続して、意識できるようにしたいです。その後のブラインドウォークですが、目が見えなくなるだけでとても怖くなったので、こんなに変わるんだ、と驚きました。障害物や今自分のいる場所がわからないなどのいろいろな不安があり、特に下り階段が怖かったです。しかし、パートナーの人がうまく誘導してくれてとても安心できました。また、自分が誘導する時、とても難しく感じました。少しですが、目の見えない人の苦勞がわかった気がしました。

二日目ではデイベートをしました。班の人たちで話し合っただけの内容を考えたり資料を作成したりなど協力してできたと思います。他の班のデイベートを見て、どの班も立論がしっかりとっていて、反対尋問もお互いの穴をうまくつけていて、受け答えもよかったです。最終弁論も短い時間で穴を修正して述べられていたのすごいです。スタンプではみんな考えて練習しました。どの班も完成度が高くて面白かったです。自分たちの班は五位でしたが、楽しくできたのでよかったです。

三日目、最終日です。最初のまが玉作りは作るのが楽しくて、やすりなどでけずるたびに完成に近づいていくのが面白かったです。その後は石橋掃除をしました。なかなか汚れがとれなくて苦勞しましたが、きれいにできてよかつ

たです。

全体をとおして、みんなと一緒に食事をしたり、レクリエーションやスタンプ、デイベートなどを通して交流を深めることができたと思います。講話で教えてもらったことも次に生かせるようにしたいです。本当に楽しくてためになる研修でした。次回も絶対に参加したいです。

夏期研修に参加して

瀬戸高校一年 檜原勝也

僕は今年八正会に入り、初めての夏期研修になりました。この研修に来るのをとても楽しみにしていましたが、友達ができるかななどと少し不安に思う部分がありました。ですがこの研修に来てみるととてもおもしろくて優しい先輩がいたり、友達もつくれることができたのでとても楽しく思いました。

そして三日間みんなとたくさん活動ができてとても楽しかったです。

一日目は用事があり十六時から研修に参加し二日目にあ

るスタンツの話し合いをしました。先輩達がとてもおもしろい案を出してくれてスムーズに決めることができました。夜には部屋でトランプなどをして先輩達と仲良くなる事が出来ました。

二日目は、ディベートをしました。初めてだったので先輩達を見て学ばせてもらいました。肯定側と反対側に分かれて、立論を考えたり相手の立論の弱点をその場で見つけて相手側に質問をしたりするところが特に難しいと思いました。でもそれをしている先輩はさすがだなと思いました。ディベートはとて面白い体験になりました。

三日目にはまが玉作りや、ボランテアをしました。ボランテアでは閑谷学校の橋をそうじしました。みんな力を合わせて、きれいにすることができたので、よかったです。と思います。

僕はこの三日間の中でも特によかったのはスタンツです。コントみたいなのをするのが初めてだったのできんちょうしました。でもみんなでがんばった結果優勝をすることが出来たのでとてもよい思い出になりました。

この三日間の研修では、ディベートだったり自分のためになる活動ばかりだったし楽しい思い出をたくさん作れたりなどとても充実した三日間になりました。また普段は聞けないようなOBの大学生や社会人の方の話を聞くことが

できてよかったです。

来年の夏期研修会にもぜひ参加したいと思いました。

夏期研修に参加して

山陽女子高校一年 影 山 都 花

私は、四月にこの八正会に入会して、今日、初めての夏期研修に参加した。

夏期研修に行くまでは、どんな事をするのかなあ、友達は何れるのかなあなど、とても緊張していた。

しかし、実際に研修に行ってみると、想像していかないくらいとても楽しく、充実した日々を送る事ができた。

一日目は、久世先生の講話を聞いた。久世先生のお話は、どれも社会にでて役立つような事ばかりで、今まで聞いた講話の中で、一番、久世先生のお話が心に響いたかもしれない。挨拶のポイントや、返事のポイント、くつをそろえる時には、心でそろえるということなど、私が忘れかけていた事を、ていねいに一から教えてくれたような気がする。一番印象に残っているのは、ブラインド・ウォーク

です。私はその体験で、相手から信じてもらえるということ
とが、どれほど嬉しく、幸せなことなのかがよく分かった。
私も、誰からも信頼されるような人になりたい。

二日目では、スタントが特に印象に残っている。練習時
間もあまりなく、ドタバタしていたけど、本番では、練習
より上手くできて本当に良かったと思う。そして結果が二
位でとても驚いた。でも、班の皆と一生懸命頑張って練習
したので嬉しかった。

そして最終日。三日目は、まが玉作りとそうじをした。
まが玉作りは、思っていたよりも難しく、大変だった。

しかし、何とか上手く作れたので良かったと思う。
そうじも、とても大変だった。

でも、閑谷の方々がとても喜んでくださったのでやりが
いがあった。

この三日間で色々な事を学べて本当に良かったと思う。
閑谷研修でこんなにもさまざまな事が学べて、楽しく、と
ても充実した三日間だった。何よりも、皆との絆がとても
深まったと思う。

来年もぜひ参加したい。

夏期研修に参加して

岡山城東高校一年 濱田実苗

私は、この夏期研修に参加して心に残ったことがたくさ
んあります。

一つ目は、新しい友達ができたことです。入会式のとき
はほとんど誰とも話せなかったので、友達ができるかすご
く不安だったけど、同じ学年の子達が話しかけてくれてと
ても嬉しかったです。

二つ目は、デイベートに参加したことです。一度クラス
での研修でも似たようなことをしたのですが、最初から自
分達が否定と肯定どちらになるか決められる形は初めてだ
だったので新鮮でした。私の班の中での役割は資料・データ
だったので、グラフを作ったりしたのですが、どういう書
き方をすれば討論に有利になるか、どういうレイアウトに
すれば見やすいかななどを考えたりして、難しかったけど楽
しかったです。本番の討論では、みんな自分の意見をはっ
きり言えていてすごいと思ったし、特に三年生は話をまと
めて分かりやすく説明するのがすごく上手くて、同じ高校
生とは思えませんでした。自分たちの班のときには、反対

尋問に少し答えただけだったけど、普段はあまりしない経験だったので緊張しました。最後に西口先生がおっしゃっていた「反対尋問で相手に説明させるのは、助け舟を出すことと同じになる場合がある」という言葉を聞いてびっくりしたけど、話を聞いていると「確かに」と納得しました。人前で自分の意見を主張するのは得意ではないのですが、来年の研修では、少しでも変われたらいいなと思います。

三つ目は、スタンツの発表会です。モノマネをあんな大勢の前でするのは初めてだったので大変でしたが、短い時間の中で班の人達と協力して考えた発表なので、とても楽しかったです。どの班もすごかったので来年も楽しみです。この三日間で、普段できないたくさんさんの経験ができて本当に良かったし、日常生活にも生かしていきたいです。

夏期研修に参加して

倉敷青陵高校一年 井上 真実

三日間という短い間でしたが、夏期研修は本当に楽しく、学んだこともたくさんありました。一日目からふり返って

感想を書こうと思います。

この夏期研修に参加するまでは楽しみでもありませんでしたが、緊張していて不安でいっぱいでした。一人で岡山駅まで電車で行って、集場所に行くときもとても不安でした。集場所では先輩方や同級生の人と話しかけてくれてうれしかったです。閑谷学校に着いて、入所式の後に修養団の久世先生のお話を聞きました。あたり前のことでも普段できていないことがたくさんあるので気をつけたいと思いました。一番印象に残ったのは「受け身から前向きへ」というところです。例えば、勉強面で課題が多くても前向きにとらえていきたいと思いました。昼からの体験学習のブラインド・ウォークでは、相手を信頼すること、相手を思いやることなどを学びました。自分が目かくしをしていた時は始めはペアだった先輩を信頼しきれいなくなっていたのが申し訳なかったです。スタンツの話し合いでは班の先輩方ともたくさん話をすることができました。先輩方がフレンドリーに接してくださって八正会は本当に楽しいものなんだと実感しました。夕食後のレクリエーションも楽しかったです。一日目だけでも出会ってまだ間もないことを忘れるぐらい、色々な人と話して仲良くなれたように思います。

二日目は主にディベートとスタンツの発表がありました。私はディベートをしたのが初めてで先輩方に迷惑をたくさ

んかけてしまいました。(すみません。)資料をまとめるのも話すことを考えるのも大変でしたが良い経験をする事ができました。私は立論を言う役割でしたが思ったほど時間がなくて焦ってしまったので次回は反省を活かしてがんばりたいです。スタンツは六班でかぐや姫(をもとにした劇)をしました。どの班のスタンツもとてもおもしろかったです。準備に時間はかかったけどやって良かったと思います。来年もがんばって楽しいスタンツ発表にしたいです。入浴の後には部屋でおしゃべりをしたのが楽しかったです。一日目よりもっと色々な人と仲良くなれたような気がしました。

三日目はまが玉を作ったりボランティア活動で掃除をしたりしました。まが玉は星の形にしてみたら変な形になってしまいました。作るのも、まわりの人と話をしたのも良い思い出になりました。ボランティア活動は先輩の方がたくさん働いてくださっていて申し訳なかつたです。ありがとうございました。

三日間、色々な活動をして、色々な人と話したのが本当に楽しかったし、良い経験ができました。この夏期研修で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。またこれからの研修でもっと八正会の皆さんと仲良くなりたいです。そして色々なことを学んでいきたいです。こんな

レベルの低い作文しか書けない私ですが、これからもよろしくお願ひします。皆さん、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

夏期研修に参加して

津山高校一年 戸田 花

初めて参加してみて思ったことは、皆さんとてもフレンドリーだなあとということです。私は初対面の人と話するのが苦手で、直さなければと思いつつも、すぐ逃げてしまいます。だから正直、台風で研修が中止になってくれることを祈ってました。結果的にその願ひは叶いませんでしたが、今では良かったなあと心から思います。

例えばスタンツの話し合い。同じ班の先輩方にとっても助けられました。ネタとか全然思いつかなくて、「はい」「いいんじゃないですか。」しか話した記憶はありませんが、先輩方がすすいすいストーリーを組み立てていってくださいました。そこでのとてもわきあいあいとした雰囲気によって私はやっと緊張がほぐれたんだと思います。その後、

何回か劇の練習を重ねていくごとに先輩方とも話せるようになりとても楽しくなっていました。本番も一位になれて良かったですが、私的には、練習中に先輩方がふざけているのを見ている時がとても面白かったです。ありがとうございます。

さて、この話をこれ以上続けるのははずかしいので、ここからは研修で学んだことを書こうと思います。修養団の久世先生のお話ですが、自分の普段の行動を見直し反省しました。あいさつや返事、くつの並べ方など、当たり前なことがよく見るとできていないことがあります。「人は知っていればできていると認識する」本当にその通りだと思います。これからは、ついなまけてしまう自分をしっかりと見つめ、当たり前ができるように心がけます。

最初は嫌だった夏期研修でしたが、終えてみると充実した三日間だったと思います。来年も必ず参加します。

夏期研修に参加して

岡山一宮高校一年 守 時 優 里

私は、この三日間の研修を終えて少しパワーアップした気分だ。それには、いくつかの理由があるのでここに書き記そう。

一つ目の理由は、友達が一気に増えたことだ。全くみたことのなかった人、どこかで会ったような気のある人、会っているはずなのに知らない人、前から知っていた人。関係はそれぞれ違っていたけれど、特に一年生の人とは仲良くなれて一安心した。苦労したのは先輩達だった。同じ高校の袖月先輩しか知らなかった私は、他の先輩とどのように接したら良いのか分からず、あたふたしていた。しかし、八正会の先輩達はとても親切で緊張して固まっていた私達に話しかけてきて下さった。ひたすら面白いことをしている先輩達、とにかく優しい先輩、とても賢く頼りになる先輩。この三日間で色々な性格が分かった。

二つ目の理由は、知識が増えたことだ。知識の源は、講話や体験学習などだ。修養団の久世先生の講話は、初めて知った考え方や、周りの様子で驚きと楽しさでいっぱいだ

った。特に、返事とあいさつのポイントや心構えをこれからの生活に最大限に役立てたい。グラインドウォークでは、目かくしをして二人一組で無声で施設内を歩いた。普段なら、普通に歩くことのできる場所であっても目かくしをした途端、周りの足音や空気に対して敏感になってしまい歩行がとて恐かった。パートナーと手をつなぐと歩行できたので目の見えない人にとってパートナーとなる盲導犬や人がどれほど重要なのか良く分かった。そして、私達の身体が健康に保たれていることがどれだけ幸せなことなのか考えさせられた。

三つ目は、やはり三日間の研修を友達と楽しめたことだ。スタンツやデイベート。準備は苦勞したけれど、苦勞しながら楽しむこともできた。それは、班長の笠先輩をはじめとする先輩方のおかげだと思った。私は来年、閑谷研修に参加するときは先輩となつているわけだが、この先輩達のようにできるか分らない。再来年、またここへ来て、もきっと今回のようにはいかないと思う。初対面で会話を弾ませるためには、何かカラーが必要だと思った。次回の研修までには、何かカラーを見つけておきたい。

私はこの研修で多くのことを学び、楽しみ、充実した三日間をおくることができた。しかし、そのために企画や準備をして下さった人々の苦勞はあまり詳しく知らない。自

分が楽しめているとき、その過去にあった多くの人の苦勞を感じるが必要だと思った。

この研修を通して、人との接し方や人の気持ちや沢山学ぶことができた。これからの学校生活で人との関わり方の参考にしたい。

夏期研修に参加して

岡山操山高校一年 熊谷舞佳

初めて参加したこの研修は思った以上に楽しく、私にとつてもとても良い経験になりました。正直、来る前の私はあまり参加したいとは思っていませんでした。理由は色々ありますが、後期補習の一週間前で残っている宿題が多くあったり、夏休みの間にやりたいこと、やらなければならぬことが山積みだったり忙しい中の行事だったからです。また、知っている人がほとんどいないことに対して不安もありました。しかし実際に参加して、八正会のメンバーと三日間過ごした今、この研修の楽しさや八正会の仲の良さを実感することができました。最初は不安や緊張で周

りの人とあまり話せていなかったけれど、ブラインドウォークや班のスタンツの話し合い、夕食、レクを通して初日の夜には不安もなくなり色々な活動や友達との話も楽しめるようになりました。二日目には一日目以上に友達との仲が深まり、デイベートなどを通して先輩方ともたくさん話ができ楽しかったです。

この研修の中で一番楽しかったのは、二日目にあったスタンツです。班での話し合いや練習はたくさん笑いがあって楽しく、本番も緊張はしたけれど楽しかったです。他の班の発表もそれぞれの班の工夫がまつていて、一人一人の個性もまつていて見ていて本当におもしろく楽しい時間でした。学校も違い、学年もバラバラで年に数回しか集まる機会がないのにこんなに楽しく、こんなに仲良くになれるんだなと八正会のすばらしさを感じることができました。

この三日間、あつという間でした。来る前の私には想像できない程の楽しくおもしろい充実した三日間で、今回この夏期研修に参加することができて本当に良かったなと思います。普通なら経験できない経験をさせてもらえ知り合わないだろう人達と知り合うことができたことをとてもうれしく良いことだなと思います。そして来年の夏期研修にもぜひ参加したいです。もちろん秋にある次の行事

も今から楽しみです。今回学んだことをこれからの学校生活などにも活かしていきたいと思います。

夏期研修に参加して

岡山工業高校二年 高橋 聖

去年、一年生のときも行ったので今年で二回目の夏期研修でした。去年とは、やる事が少し違ってはじめての体験もできとてもおもしろかったと思います。去年ははじめての体験ということもあつてなかなかまわりの人とあまり話せてなかつたけど、今年は去年よりもたくさんの人と話すことができたと思うので本当によかったです。あと、楽しかったです。

一日目は、ブラインド・ウォークをやりました。館内を目隠しして歩くだけだけど、とても怖かったです。特に階段のぼりおりがどこまであるのかどのくらいの高さなのかとか目隠しされていて全然感覚がつかめなくて怖かったです。でもパートナーの人が階段の時とか手すりや壁に手をおいてくれてさわりながらのぼりおりできたので結構

安心しました。街中とかでたまに一人でつえをつきながら歩く人とか見るけど本当にすごいなと思います。自分だったら一人で歩けないと思います。今回のことで少しは障害者の方の気持ちが理解できたと思います。

二日目の楽しかったことは、スタンプです。どの班も去年よりクオリティが高くてすごくおもしろかったです。自分では少ししかでなかったけどそれでも結構緊張したけど、楽しかったです。それに今年は三位になれたし、班長の小野先輩がMVPをとれてとてうれしかったです。あとスタンプの前のレクリエーションもしゃべらずにあいうえお順や誕生日順に並んだりとてもおもしろかったです。

三日目は、まが玉づくりをはじめました。単純に丸の形にしたのですが、なかなかまるまらなくて難しかったけどなかなかおもしろかったと思います。耐水ペーパーで磨くときにつるびかになっていてとてもおもしろかったです。

今年の研修は中でやることばかりだったけど、とても楽しむことができました。一日目と二日目は外が台風の関係で雨とかすごかったけど三日目は晴れたので良かったです。今年も去年に増して楽しい思い出ができたと思います。本当に楽しかったです。

夏期研修に参加して

岡山操山高校二年 佐伯 拓馬

僕は去年は三日間すべて参加したが、とてもおもしろかった。だが、今年はおもしろくなりました。

予定では二日目の朝からの参加でした。しかし、晴れの国岡山では珍しく台風が直撃して暴風、大雨警報が発令し、JRも昼ごろまでは運転を見合わせ、閑谷学校の地域では避難勧告も出たそうです。そのためデイベートの途中参加で実質はスタンプからでした。

スタンプの感想。笑えた。ただ全班が素晴らしいということです。僕らは白雪姫で、なんと僕が主役でした。セリフは少ないものの、AEDで蘇生されるシーンなど演技力が試されました。行動やしぐさはブリッ子。声はず太い男のちよいかわ白雪姫をとっさに思い付き、アドリブで挑戦しました。

何よりも意外だったのはAEDのシーンでAEDの電流を流すスイッチを押す時に、小人役の女性が一声。

「発射します。」

え。ミサイル？と、観客は爆笑。電流が流れると思った僕

は誰よりも驚きました。

他の班でおもしろかったのはコナンも個人的には推しですが、やはり一位の桃太郎です。スタイル的には陣内智則で、一人が映画？を観ている設定で一人二役のイヌとサルとあれ気味の歩きスマホのキジとチャラ目の桃太郎。鬼も口が悪いという一風変わったストーリーでした。

後に残った一時間でバスケットをしました。暑い、楽しい、え、意外な人が上手い。楽しんだ二日目でした。

最後の夜の大富豪と人狼ゲームは最高でした。互いに知り合いの話をしたり、共感できる考えを共有していました。

夏期研修に参加して

倉敷青陵高校二年 岩 田 真 央

私は今回の夏期研修で心に残ったことが四つあります。

一つ目は、久世先生のお話です。日本人として、改めて正座の正しいやり方を教わったり、『研心』という本をいただき、人として大切なことや、あたりまえであると思わずに日々感謝をするということ学びました。正直、ずっ

と畳の上に正座をするのはきつくて腰痛にもおそれられたけど、なんとか聞きました。ありがとうございます。

二つ目は、デイベートです。私は「SNSに賛成」でした。意外と賛成側は難しく、なかなか意見をまとめることができませんでした。しかし頼もしい一年生やOBの助言をもとに、なんとかデイベートをする事ができました。

しかし、いざみんなの前でマイクを持つてみると頭で何も考えられなくなり、何が言いたいのか全く伝えられず、とても悔しい気持ちがありました。その点で三年生のしつかりとした方はスラスラと意見を述べ、かつ説得力もあり、本当にすごいと思いました。来年こそは、そうなりたいです。

三つ目は、スタンツ発表です。一回目の話し合いで、最初一つも案がでてこず、こりゃやばいと思い、私は積極的にセリフを考えたり笑いの要素を取り入れたりと中心となつて考えました。練習のとき、班のみんなでたくさん笑い、初めはおとなしかった一年も、自然と声を上げて笑うようになり、本当に楽しかったです。本番ではトリで緊張したけど、思いっきりでき、三位にもなり、MVPも先輩がもらうことができ本当に最高でした。来年こそは一位をねらいます。

最後は、二年生の友達と一部の先輩としたドッジボール

です。これはこの合宿でもっとも汗をかきました。みんな必死になってやり、豪速球を投げられ、床にとばされたりもしました。とにかくずっと笑っていて、とても楽しかったです。やっぱり思いつきり体を動かすことは楽しいです。また部屋でやった「うの」もいつも下位争いでつらかったけど、とてもたのしかったです。最高十四枚引きも出て、盛り上がりました。

このように、なんだかんだいって夏期研修は本当に楽しいです。みんないい人たちばかりで何度も助けてくれたりと、いい仲間を持って、幸せです。このような機会をいつも用意してくださり、本当にありがとうございます。

夏期研修に参加して

瀬戸高校二年 檜原大毅

僕は今回最初からは参加することはできませんでしたが一日目の午後四時ごろから最後まで参加することが出来ました。去年の夏期の研修は一日目の最初から参加し、一日目の夜に風呂に入ってから用事があり、帰ってしまいました

た。その後家に帰る途中、車の中ではずっと「あと二日いたかったな」と思いながら帰っていました。本当に後悔していました。ですが今年の夏は三日間すべて参加できるとにこの夏期研修がまちどおしくてしかたなかったです。ところでこの夏期研修では、とてもいろいろなイベントが組まれていました。

まず最初には、ディベートです。班のメンバーで協力して、情報を集め大きな模造紙に内容をまとめ役割を決めて、ディベートにしてみました。そのディベートでは、自分たちの伝えたいことが立論でしっかりと述べられて、反対尋問では、相手からの質問はしっかりと答えられ、逆に相手の弱点をうまくつき、最後の最終弁論では、内容のある素晴らしい発表ができ、ディベートに勝利することが出来ました。ディベートは自分たちの学校でも授業の一環で毎年いろんなお題でやっております、ディベート自体自分自身とても勉強になっています。メンバーと一緒に情報を集め、それを意見として、相手に発表し、相手からの質問を受けたりしてまた考えるそのようなことはすごく自分のためになっておりとてもいい取り組みだなと思っています。

そして二日目のスタンスは、まだあまり話したことの少ない先輩や後輩たちと、話し合いをして、内容を決めました。自分たちは、かぐや姫をやりましたが、結果は六位でした。

でも順位がすべてではなく、いろいろな人と交流が深められたことが一番の収穫でした。個人的に、優勝したチームの三班がとても面白かったです。

他にもまが玉作りもあり掃除もしっかりできてすっきりしました。

そして一番楽しかったのは、男子のみんなとの風呂と、夜トランプなどで遊んだことです。

この三日間本当に充実していて楽しい三日間でした。来年はぜひ、一日目の最初から最後まで参加したいと思っています。

夏期研修に参加して

玉島高校二年 宇野美咲

私は今回の研修は一日遅れの十日のスタンツから参加しました。途中参加ということで、家を出る前から不安で不安でたまりませんでした。八正会の仲間達の顔を見るとそんな不安は吹き飛びました。たったの一泊二日でしたが、充実した内容の濃い研修でした。

私がこの夏期研修の中で一番心に残っているのはスタンツです。練習は一時間程しかできなかったし本番も何ヶ所かミスをしてしまったけれど、班員と力を合わせてきて、親睦も深まりました。来年の夏期研修のスタンツは私達が引つ張っていかねばならないので、これまで見てきた先輩達を見習って、一位を目指したいです。

もう一つ、心に残ったことは、三日目のまが玉づくりです。最初、日程の紙を見たときから楽しみにしていました。私は雫の形を作りました。思っていたよりもきれいになるようになっていって、とても面白かったです。自分の思っていた様なものが作れたので良かったです。

秋期研修や来年の夏期研修が今からとても楽しみです。残り少ない八正会の研修を一回一回大切にしたいです。

夏期研修に参加して

倉敷天城高校二年 水川碧

八正会に入会して二回目の夏期研修。去年と同様参加することへの不安や緊張を抱きながらの参加でした。しかし

私は去年の夏期研修では体調を崩し、活動することができなかつたので、今年こそは楽しんでやりたいという思いもありました。

そして、研修が始まると私はすぐに雰囲気慣れ、リラックスしてのぞめました。それは一重に優しく指導して下さった先輩、たくさん話しかけてくれる友人、サポートして下さる皆さんのお陰でした。人見知りしがちの私でも積極的に会話に参加することができたのは皆さんがいてくれたからこそだと思います。

さて、夏期研修では様々なことを体験させて頂きましたが、その中でも思い出に残っているのは同室の友人たちとの交流です。去年参加した活動が少なかったこともあり、同学年の人たちと話す機会はほとんどありませんでした。けれども今年は、たくさんの人たちと話したり遊んだりすることができました。三日間、色々なことがあったなと思います。同室の皆と交流したことが、私の心に強く刻まれています。特に二日目の夜は、話すことが多すぎて羽目はずしてしまいました。同室の皆さん、迷惑をおかけしてすみませんでした！

この三日間を振り返りますと、本当に充実した時間を過ごさせて頂いたと思います。修養団の久世先生の講義、ディベートで交わした価値のある議論……など。このような

経験をさせて頂いた八正会へ感謝の気持ちでいっぱいです。今回の研修にあたってお世話になった皆さん、本当にありがとうございました。

夏期研修に参加して

倉敷古城池高校二年 酒井彩夏

私は、この夏期研修には一年生のときにも参加したので、今回で二回目の参加でした。これは、昨年感想文でも書いたのですが、夏期研修、すごく楽しかったです。本当に来てよかったな、と思いました。

まず、今回の夏期研修で特に楽しかったことを書きたいと思います。私が特に楽しかったことは、部屋で過ごす時間とスタンプです。昨年の部屋は一年生から三年生までの女子全員で一部屋だったのですが、今回は二年生の女子で一部屋、一年生と三年生の女子で一部屋でした。だから、二年生の女子での仲が深まったし楽しかったです。もともとたくさん話しかけたです。スタンプは、練習をしているときも、本番もどちらも楽しかったです。私た

ちの班は白雪姫をしました。私は「こびと」の役でセリフは少なかつたけど頑張りました。でも、私以上に先輩達は頑張っていたし、本気で演技していて、やっぱりさすがだな、と思いました。それと同時に、来年は私が先輩達のように一年生と二年生を引っ張っていかないといけないんだな、私にできるかな、と思いました。先輩達を見習って来年、頑張りたいです。

次に、初めてしたまが玉づくりについて書きたいと思います。私は丸い形をつくりました。すごく難しかったです。なかなか丸くならなくて、最初は、丸というよりは四角のかどがとれた形でした。丸くするのに思っていた以上に時間がかかって大変でした。一緒につくっていた友達がデザイン科の子だったので、やすりをかけるタイミングとか色々聞いて頼っちゃいました。でも、ちゃんと教えてくれたのでよかったです。

最後に、来年は私達の学年が一年生と二年生に頼ってもらえるような先輩になれるように努力したいです。

夏期研修に参加して

岡山一宮高校二年 河本 柚月

今年の夏期研修もとても楽しい時間を過ごすことができました。色々な思い出ができましたが、その中でも特に印象に残っていることが二つあります。

一つ目はスタンプです。ももたろうの劇で鬼の役をやりました。ちよつと素が出たけれど、ありのままの姿を見せました。最初からノリノリで役作りをしたり、班の人と意見を言い合って、よい作品に仕上がったと思います。でも犬と猿の足を本当に蹴った時は、相手にあてないつもりだったので少し焦りました。一位をとった時はすごく嬉しかったです。賞品のとんがりのとうもろこしのなおかしはおいしかったです。また自分でも買ってみようと思いました。

二つ目は夜です。一日目も二日目も次の日が来るまで眠れませんでした。部屋の人とウノで最下位を競い、トランプで最下位を争い、自分の弱さを痛感しました。カードゲームをやめて寝る時間にしようとしてもハイテンションすぎて目がさえ、ひたすら放送禁止音と痛発言と持ちネタを連発しました。両日ともにです。私の左右に布団を敷いた

二人にとつてはいい迷惑であり悪い冗談です。しかし何人たりとも私の暴走を止められません。聞いていてもいなくても喋ります。そして他者の眠りを妨げます。でもそのおかげで普段は知ることのできない話を聞くことができました。こんな明るいうちからは言えないような内容でしたが。

今回の研修は「楽しい」が多いものでしたが、もちろん学んだこともたくさんあります。デイベートや一日目の「研心」は学校では教えてもらえないことでした。しかし、日常生活にも応用できる知識を得られたので、しっかり活用していきたいと思います。また、一日目の「名札消失事件」から、思いのほか自分が抜けているのだと分かり、その対策の必要性をひしひしと感じました。社会的になったと思つたらそうでもなかった、など気付くこともたくさんあり、自分を見つめ直す良い機会になりました。今回の反省をもとに、よりよい自分になれるよう精進したいと思つます。

三日間ありがとうございました。

夏期研修に参加して

倉敷青陵高校二年 蘆原 薫

私は、今回この研修を昨年に比べてより楽しむことができました。昨年は緊張のせいで少しづつしか友達と打ちとけることができなかったからです。しかし、今回は初日のバスに乗るときから色々話すことができ、研修の回を重ねるごとに、友達と話せるようになったなど実感しました。

今回の研修の中の行事で一番楽しかったことは、デイベートとスタンツです。私はこの八正会の夏期研修で一番苦手です。まず、デイベートですが、私は自分の意見を人に伝えるのが苦手なので嫌いだったのですが、資料からデイベートに使えるところをさがしたり、自分の考えを伝えて議論することがとても楽しかったです。昨年は先輩方に頼ってばかりでしたが、自分から積極的に意見を言うことによつて、面白いなと気持ちがあがりました。次に、スタンツで、最初はグループのみんなで意見が出ず、なかなか話し合いが前に進みませんでした。しかし、名探偵コナンと半沢直樹をドッキングさせて、脚本や役割分担、音響等を決めて、練習をすると、自画自賛になりますがつて

もいゝものができました。グループのみんなで協力できて、リーダーのスタンツ最下位を脱出できてよかったです。

研修の行事以外で楽しかったことは、食事中的おしゃべりです。ずっと、水川さんと河本さんと一緒に食べたのですが、ずっと笑ってました。普段学校では、友達と向かいあっては食べるのですが、どうしても食べることに集中して無言になり、食事のあとは各自で課題をしたり他のクラスの人達に会いにいたりして、食事中に話すことはありません。しかし、今回は一度も無言になつて空気が沈んでしまうことなく、楽しくおいしくたべられて、嬉しかったです。

楽しくてためになる経験をたくさんさせていただいたので、これから先の研修もできるだけ参加したいと思います。そして、二年生や先輩方と多く話をしてしまつて、一年生の方とは限られた人としか話すきっかけ等がなかったので、もっと交流を深めて、よりよい研修にしていけるようにしたいと思います。

夏期研修に参加して

倉敷古城池高校二年 吉川 智也

僕はこの三日間に参加してとても良い思い出ができました。一年生は初めての研修でやっぱりとても緊張していると思いました。ですが、先輩やOBの方々が自分から声をかけていく姿を見て、自分が一年生の時の事を思い出しました。これにより、時間が経つにつれ緊張感なく、スタンツやディベートなどでとても盛り上がりました。

スタンツでは、笑いを中心に六人全員が意見を出し合い、本番では今までで一番良かったとリーダーに言われた時とても嬉しかったです。

ディベートでは、SNSは必要か必要でないかというテーマに対して否定側の立場となり話し合いました。意見が整理できずとても悩みましたが決められた役割を責任持つてやり遂げたみんなはとても最高です！

他にも、部屋や食事の時、風呂場などいろんな所で友達と笑い合えたのも一つの思い出となりました。

OBの大西さんの話を聞いて次の秋の研修会や来年の夏期研修などに参加し、八正会という仲間たちともっと笑い

合い、残り少ない研修会の時間を大切にしたいと思います。今回の研修会でもし自分が三年生になったらと考えました。今の三年生の先輩方のように人をまとめて意見を出し合い整理して述べるといふこともあまり自分ではできないと思います。ディベートでも三年生として、立論や反対尋問を考えるのも難しいと思いました。

でも、まだ来年までは時間はあると思うので今回の研修会で自分と三年生の先輩方とどういふ点が違い、どのような部分が自分のためとなり活かせていけるかを見直し、今より明日、明日より明後日と少しずつ成長していく姿が周りの人から見られるように努力したいと思います。

夏期研修に参加して

岡山東商業高校二年 合 田 紗 也

あれからもう一年経ったのか、と集合場所に着き八正会のみんなを見て思いました。今回は一番仲のいい友達が欠席してしまったので、どうなることか心配でした。ところが、そんな心配は必要なく充実した三日間になりました。

一日目の目玉はレク&交歓会。一年の頃を思い出して班べつゲームで勝つための準備をして行きました。結果は予想外の三位。ビックリしました。

そして恒例、仲良くお風呂の時間!!友達と入るお風呂は一段と気持ちいい!!就寝はというと、そう簡単には寝ませんでした…。

二日目は何といってもディベート。去年は一年という立場・恥ずかしさもあり資料を書いてディベート中もしゃべることはなかったのですが、今年は二年という立場・「やるっきゃない」の精神で反対尋問をする役になりました。人前だと赤面で緊張してしまうこの性格をどうにかしたいとずっと思っていて、いい機会だ、と思って頑張りました。やっぱり手は震えるし、言葉は出てこなくなるし焦りましたが、相手の弱点を突きたい質問は出来たと思います。

そしてお楽しみのレストランは、あいかわらずのおもしろさでした。急に集まった六・七人が一日もない時間でネタを作る。こんなムチャぶりって!!いつも思いますが完璧に仕上げられていて、やっぱりこういふことが出来るのは、八正会のひとりひとりが、いい人間であるから出来ることだと思えます。

今回の研修で、本当に有意義な時間を過ごしました。一年の時よりも同じ学年の子とお腹がよじれるほど笑いまし

た。あとはOBの方がおっしゃっていたように男女間の距離が縮まればもっと楽しいものになると思います。

まだ二年のうちに二回八正会の活動はありますが、次の夏期研修は三年生です。そしてその時には先輩はいません。とても悲しくさみしいです。次からはスタンツ・デイベート・八正会を私たちが作りあげていくと思うと不安です。あと二回の八正会で先輩方の意志を受け継いで頑張らねば…と思いました。

八正会夏期研修サイコーです!!!

夏期研修に参加して

岡山芳泉高校二年 松村 優

今年で私にとって二回目だった夏の大会イベント夏期研修。前日にやまびことデイベートの準備をせずに寝てしまったため、夜十二時に寝て、朝三時半に起きるといふ非常に寝不足な状態で参加しました。みんなと顔を合わせる前、私は今年ではできるだけ多くの人としゃべったり触れ合ったりしたいという切実な思いがありました。昨年の夏期研修会

もすごく楽しかったのですが、あまり話をしなかった同級生の人たちもいたりして、心残りの事があったからです。また、後ほど書きますが、私は今回、絶対にこれだけはやってやるということがありました。

一日目のレクリエーション、私はこれを密かに楽しみにしていました。班全員のチームワークが最初に試され、お菓子ももらえるイベントなので本気で臨みました。相手の班が言った食べ物を当てるゲームではまさかの相手の班と同じ食べ物を言っていたというミラクルが発生しましたが、私たちの班の素晴らしいチームワークで見事一位をとることができました。班のみんなと大量にゲットしたお菓子を山分けし、喜びを分かち合いました。そして夜、部屋でお菓子パーティとUNO大会が始まりました。ここで一年前とは比べものにならないくらい盛り上がりました。昨年はしゃべらなかつた人とも話が弾んでとても嬉しかったです。台風の影響もなくて良かったです。

そして次の日、メインイベントデイベートとスタンツ。デイベートでは私は立論をしました。昨年に一度、デイベートの緊張感を体験していたので今年は少し落ち着いた気持ちですることができました。でも相手の班の反対尋問では質問されないように祈っていました。先輩がして下さった最終弁論はまとめる力、相手の弱点を鋭く突いている力、

説得力があつて本当にすごいと思いました。他の班のディベートもレベルが高くて見習うところが多々ありました。

私も自分の考えを上手くまとめ話せるようになりたいです。ディベートも終わり、スタンツ。今年はスタンツで絶対にへまをしない、これが私がいだけ夏期研修でしなきゃいけない、と決めていたことでした。昨年はスタンツの時に吉本新喜劇風の劇のセリフが頭から飛んでいってしまつて台無しになるというアクシデントがあつたからです。今年はナレーション兼、王子様役で白雪姫をしました。私は大きなへまをすることはなかつたのでそこは良かったです。王妃役の先輩の演技はさすがだなあと思いました。班のみんなが恥じらいを捨ててAEDも使つた白雪姫は準備をしている段階からとても楽しかったです。班のみんなに感謝したいです。

最後に八正会の皆様、今回も貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございます。来年もぜひまた参加したいです。

夏期研修に参加して

岡山朝日高校二年 藤原 淳 平

今年もこの八正会の夏期研修ではたくさんの方がお話ししました。ディベートやレク、スタンツに久世先生のお話しやまが玉作りなどどれもおもしろかったです。その中でも特に印象に残ったことをどんどん書いていきたいと思ひます。

まず初めに、一番悩んだのはスタンツをどうするかということについて班で話し合っていた時です。僕の班は元々七人の班だったんですが、一人は他の班へ、一人は試合へ、ということでした。結局、よしもと新喜劇のネタに浦島太郎要素を加えるということになりましたが、笑えてもらえてよかったです。また、どの班のスタンツもOBの先輩方のスタンツもおもしろくてすごく楽しかったです。

次は、ディベートについてです。名田君は午後からはラグビーの試合に行かないといけなかったため、残念でしたが、たくさん意見も言ってくれて助かりました。また、班の人全員が分担して取り組み、時間内でまとめられてよか

ったです。班の皆さん本当にありがとうございました。僕は最終弁論の担当だったんですが、あまり上手にはできなかったので今回学んだことを来年のディベートに活かせるらしいなと思います。

最後に、今回は久世先生やOBの大西先輩からのお話しはとても学べるが多く思いやりや自分の将来ということを考えさせられたいへんためになりました。日頃の生活では自分が学んだことを忘れずに過ごしていきたいと思えます。

他にも部屋での大富豪などいろんな楽しいことがたくさんありましたが、今回はこのぐらいにしようと思います。今回の夏期研修は台風十一号の接近などの不安もあったのですが、無事何事もなく夏期研修に参加ができて本当によかったです。来年の夏期研修にも是非参加したいと思えます。

夏期研修に参加して

岡山朝日高校二年 濱 田 恵理香

台風の影響でどうなるのかなと不安に思ったもののしっかりとこの夏期研修を楽しむことができました。修養団の久世先生による講話から始まり、体験学習では五感の一つである視覚を遮断し多くのことを学びました。日常の当たり前だと思っていたものが欠けるだけでその有り難さや、相手の立場になって物事を考えることの重要性に気づくといった人として成長するための良い経験になったと思います。

ディベート、スタンプでは先輩方にリードしてもらいながらとても楽しく過ごすことができました。ディベートでは順序よく物事を進め、下級生の私たちに丁寧な指示を出してくれ、スタンプでは構成の案をききとまとめる先輩の姿は憧れます。一班のみなさんありがとうございました!!

今回の夏期研修で一番盛りあがったのは入浴前のプレイホールで行ったドッジボールです。先輩方とも一緒に遊ぶことができ、ほんとうに楽しかったです。「たまお」の顔

面にボールが当たったり、ボールのよけ方が同じ人がいたりして爆笑しました。とても多くのエネルギーを使い、疲れしました。しかし、汗をいっぱいいたあとのお風呂はとても気持ちよかったです。部屋ではウノをして熱い戦いがくり広げられました笑。たくさんいろいろな話をして笑いが止まらなくなるほど語り明かしました。今まで以上に仲を深めることができてとても嬉しかったです。

長いようで短かった二泊三日。正しい礼の仕方など新たな知識を増やしたり、普段では聞くことができない社会人の方の話を聞けたりと貴重な体験ができてうれしく思います。さらに仲良くなれた友達と語り合い、笑い合った時間忘れません。夏の楽しい思い出をまた一つ増やすことができました。これからは部活や課題、文化祭に向けての準備などが大変で忙しくなると思うけれど、楽しかった記憶をよびさまし、乗り切っていこうと思います。

夏期研修に参加して

玉野光南高校二年 三宅 晟

夏期研修の季節がやってきました。僕にとっては二回目の夏期研修ということもあり、初めて行く時ほど緊張はしませんでした。

研修の日、あいにくの台風の直撃を受け、大雨になってしまいました。「大丈夫かな…」と思いましたが、割と室内でやるものが多かったので大丈夫でした。

初日は修養団の方の話を聴きました。午前も午後もずっと座って話を聴いていたので、足が痛くて辛かったです。

次にスタンスの打ち合わせをしました。話したことがほとんど無い人たちとの班で、うまく話が進むか心配でしたが、ほぼ滞りなく話が決まりました。そして僕は物語の中で重要な役をやることになりました。昨年の夏期研修のスタンスでは、確か一位をとっていたので、今年も頑張ろうと思って恥を捨てたのですが、結果は六位でした。今年もおネエで挑戦したのですが、まさかの結果になってしまったので、来年こそはリベンジを果たします。

恒例のディベートでは、反対尋問で僕は予想外の質問を

され、焦った挙句に「あ、もういいです。」と言われたことが心に残っています。結果的には勝ちましたが、少し腑に落ちないと思いました。

行事を終えた後の夜は恒例の大富豪などをしました。夏期研修の醍醐味といえばこれだと思います。しかし当然これのおかげで連日寝不足でした。

二年生になり、二回目の夏期研修に行つて思ったことは、一年の時と比べて見える景色が違うということです。一年生の頃は全てが初めてで、知らない人しかおらず、ただ先輩の後についていくしかできませんでした。しかし今年は友達もいて経験もあり、前よりは積極的に行動することができました。来年は先頭に立って行動できるようになりたいです。

夏期研修に参加して

岡山芳泉高校二年 黒 住 美恵子

私は今年の夏期研修、とても楽しく過ごせました。特に友達とたくさん話せて、遊べて面白かったです。レクの後、

体育館みたいところでドッチボールをしたのですが、二日目にに関しては、たまおさんのよけ方やあたり方がとつてもおもしろくてずっと笑っていました。あと寝る前に何人かでUNOをやったのですが、たまおさんが全然勝てなくておもしろかったです。たまお最高でした。

また、スタンプでお笑をやったのですが、男子一人女子三人で発表ということで心配でした。けど笑ってもらえて嬉しかったです。

研心では人生において大切な事をたくさん学べてとてもためになりました。大人になって、急に習慣や考え方を変えることは難しいと思うので今のうちに変えてみたいと思うと思いました。

去年も食べたのですが松村さんにつけ物を処理するため、今年もたくさん食べました。

合田さんに関してはどうノリが合ってしまった。「Thisが最高にチヨウドイイGODA」とか言っていました。

そんなこんなで楽しんでいたので、自分が夏課題をやっていない事に気付きました。私は部活の遠征でも課題を持っては行くんですけど全然しないという習性があった今回もそれでした。なので帰ったらちゃんと毎日やらないと間に合わないのがんばります。

そういうえば台風もなかなかすごかったですね。避難勧告

も出ました。何と言っても避難勧告が出た時ケータイがファンファン鳴ったのが驚きました。つい数日前の部活の遠征でも泊まり先のホテルで真夜中に火災報知器が誤作動でうるさく鳴り続けていたので私の泊まりには何かあるのか！ようかいがいるんだな！と！（妖怪ウォッチ引用）思ってしまった笑。

二年生はおもしろくてノリが良い人たちばかりで、とても楽しい夏期研修にできました。来年も絶対来て学年をこえて仲良くできたらいいなと思いました。

夏期研修に参加して

岡山城東高校三年 小林 遥

毎年ばっちり参加してきた夏期研修も、とうとう今回で最後になってしまいました。今回の夏期研修はこれまでが一番楽しかったです。なぜかという、やはり色んな人と話げできたからかなあと思っています。特に二年生や一年生と話げできたのがよかったです。こちらから話しかけるのは苦手なので、話しかけた人は拳動不審な奴だなどと思っ

たと思うのですが、楽しく話してくれてありがとうございます。これが一、二年生の時も出来たらもっと楽しかったなあと後悔している、今、一、二年生の皆さんは、例えばお風呂で知らない先輩・後輩がおもしろい話してたら、思い切つて混ぜてみるとかしてみてください。もう夏は終わってしまったので、秋の研修とかで！そしたら、来年の研修がもっとおもしろいものになると思います。

知らない人以外でも、三年生とも、色々な話げできてよかったです。進路とか。八正会の人には色々な高校から集まっているので、それぞれ様々な立場から話げ聞けたのもおもしろかったです。

行事については、デイベートとかスタンプとか色々今年もありましたが、スタンプが、三年間で一番安心なスタンプで、しかも昨年に続いて一位を頂くことができました。脚本や配役などがサクサクと進み、練習もしっかりすることができました。私はナレーターだったので大したことはしていませんが、一・二年の時に、知らず知らず鍛えられていたのかな、と今になって思います。

来る前はあんまり気乗りしませんでした、来てみるととっても楽しい研修会でした。無事大学に合格できたら、今回話げできた後輩のみなさんのいるうちに、のぞきに來たいなと思います。（でもスタンプとかデイベートは、も

ういかな～)ということで、帰ったら勉強がんばります。

夏期研修に参加して

就実高校三年 萩原 萌

私たち三年生が学生として参加できるのは今年で最後でした。だから昨年よりもさらに気合いをいれて挑みました。しかし、一日目二日目は避難勧告がどのほどの台風が岡山にも直撃しており、そのせいかな昨年より外の活動が少なくなっていて楽しくないのだろうなとしよげていました。けれど、室内ですること外と同じくらい楽しかったです。特に、レクやスタンプは今年、自分達が引っぱっていかないと、と気を張っていたのですが、二年生の子たちが思いの他しつかりして助けられることが多々ありました。一年生の子たちも気後れせずに私たちと話してくれたことが嬉しかったです。

さて、そんな嬉しいことや楽しいこともいっぱいあった今年の夏期研修は主にこんなことをしました。一日目は、久世先生におこしいただいての公演会でした。これは本当

に為になることが多かったです。例えば、目が悪い人の気持を知るために目隠しをして歩きました。目が見えないだけでも結構な恐怖で、歩くとき何かがあたるたび、びくびくしていました。それでも、隣にいる人が階段を登りきったことを知らせるために一回たちどまったり私が物にあたらぬよう気を配ってくれたりしてくれたおかげで何とか歩くことができました。一日目の終りにあったレクでは、班の人と協力しながらゲームをしました。ここではあまり良い結果はでませんでした。ここで後輩の子たちとぐつと距離が縮まった気がしました。

二日目は、ディベートやスタンプなどをしました。ディベートでは反対尋問でほめられたのが嬉しかったです。しゃべるときに噛んでしまってもにしゃべれなかったのはいけなかったなと思いました。スタンプでは、一年生の子たちがだしてくれたアイディアでした。私はあまり出場がなかったのですが、他の子たちが緊張しないで堂々としていたことに深く感動しました。

三日目は、まが玉をつくりました。ただ削って磨くという作業だけでしたが、何かが形になっていくのは本当に楽しかったです。

最後に、八正会の皆さんに今回の奨学金だけではなくこのような楽しくて為になる研修会を私たちのために企画し、

実行してくださったことを心から感謝いたします。

夏期研修に参加して

岡山芳泉高校三年 笠 笑 太

今回が最後となった現役での夏期研修では三年生として、班や全体を動かし、みんな楽しめて自分も楽しむことを念頭に置き、この研修に臨みました。

三年目なので緊張することはなかったが、新しいメンバーに対して「自分がまとめられるか」や「楽しく・仲良くなるだろうか」といった不安はいくらもあった。一年生だけでなく二・三年生にもよく知らない仲間はいまいますが、さすが八正会、すぐにうちとけ、みんなで楽しさを作る、ということができたように思います。

レクリエーションでは、初めて話すような人もいて、コミュニケーションがうまくいかないところを積極的に声を出し、笑い、楽しもうとすることで、班員の心もほぐれ、最高のパフォーマンスをすることができ、優勝することができました。このことがリーダーとしての自信につながり、

後も楽しさと勝つこと、両方にこだわる活動ができた。

デイベートでも未経験者、経験値の少ない人等が自分以外で、自分がこの二年間で先輩にもまれてきたことをうまく伝え、皆が作業をし、目標に向かっていく、ということを班全体としてこなすことができ、実際のデイベートでも試合中不具合が起きることなく、確実に勝利することができた。ここでも、楽しませる、やるべきことをやりとげるだけではなく、後輩がリーダーになったときに手本になれるように意識し、全力で活動できた。

班の活動として、やはりスタンプ。最初はみんな意見が出しにくい状況だったけど、自分一人が決めていくのではなく、みんなが少しずつ考えを述べ、決定に至ったときは、心持ちも軽く、ひとつのまとまりを強く感じました。疲れて寝そうになるリーダーのそばで練習や内容の吟味等、班員全員が力を尽くしてくれたことには感謝の気もちでいっぱいです。

今回の研修を通して、去年とは大きく異なる点が二つありました。一つは、リーダーとしての責任と難しさで、自分のことに全力を注ぐのではなく、班員全員のできることで、個性等を活かしていくことはとても難しく、今回の研修でも、完全にできたとは言えないでしょう。しかしこのことに関しての得ることができた経験値はとても大きく、リー

ダーシップをとることについて、とても大きな糧となりました。二つ目は「学ぶ」に加えて、「伝える」の比重がかなり大きかったことです。去年まで、しつかり学ぶことを目標にプログラムをこなしていました。後輩に対し、自分が何をどう伝えていけばよいか試行錯誤し伝えれそうなのは伝えようと思えることができ、後輩に、来年すばらしいリーダーになってくれることを期待しています。

最後に、八正会の夏に学んだことをこれからの人生にたくさん盛り込んでいきます。

夏期研修に参加して

倉敷古城池高校三年 片山 遥

とうとう三年生になり、夏期研修の時期がやってきました。三日間すべて参加したかったのですが、一日目はオーブンキャンプ、二日目は台風と重なり閑谷学校まで来ることができず、三日目だけの参加となりました。非常に残念です。というか、この感想文に書くことができるものが非常に少なく、とても困っております。出来る限りは、頑

張ってみますが、私の限界に達してしまったら、すいません。

朝五時半に母親に叩き起こされましたが、あまりの眠さに二度寝。それが今日の朝のことです。母の仕事に行く電車と同じの乗り、岡山駅で乗り換え三分のところをダッシュで間に合わせて、閑谷学校最寄りの吉永駅に着いたのが七時四十二分。この時点で既に疲労が……。閑谷学校に着くと、少し緊張していました。年に四回しか会わないため顔を忘れられていたら……。と思うと泣きそうでした。

(冗談じゃなくて)でも、食堂に入ったら、覚えてくれました！もう！感激！しかも、二年生の後輩が声を掛けてくれたりして、本当に嬉しかったなあ。普通に歩いているのに自然とスキップになっちゃうんじゃない？そういうレベルのテンションでした。え？そうは見えない？ポーカーフェイスなだけです。だから無愛想って言われるんです。

そんなこんなで勾玉作りが始まりました。以前、中学校の修学旅行で勾玉を作ったことがあったので、懐かしいなあと思いつつ、一心不乱に石を削ってました。今回はだ円の勾玉を作りました。自分的には上手くできたかなあと思います。とりあえず、手がつって痛かったなあ、これも一つの思い出ですね(笑)。

その後にボランティアという名の清掃活動をしました。

三年目にもなると、慣れてくるものですね。とか偉そうに言いながらも、ほうきで少し掃いただけですが。

そして今、感想文を書く時間です。お昼ごはんも食べ、非常に眠たいです。色々と思うことはあるのですが、一番に考えたのは、八正会員としての最後の夏期研修であること。三年間、夏期研修に参加できたのは本当に良かったです。私たちにこのような機会を与えてくださり、ありがとうございました。

原稿用紙約二枚半。よく書いたなあと思います。一日で二枚半ということは、三日で七枚半。他の八正会員の文章量に期待して、私はこれで終わりとさせていただきます(笑)。

夏期研修に参加して

倉敷天城高校三年 小 西 茜

今回で三回目、そして最後の夏期研修が終わってしまいました。三年生として参加したこの夏期研修は予想以上に大変で、予想以上に楽しくやりがいがあるものでした。私

が去年とは違うなと思ったことが二つあります。

一つ目はスタンツです。私の班は三年生が私しかおらず、私がリーダーにならざるを得ませんでした。高校一年生、二年生の時に参加したスタンツでは脇役、先輩の指示にただ従っていただけなので何をするかを決めるのも本当に大変でした。私の経験がないばかりに六班は最下位となってしまい申しわけありません。結果は最下位でしたけどいざ練習を始めると楽しく二年生にはいっぱい笑わせてもらいました。

二つ目はディベートです。頑張って引っぱり張っていかないと思えば全然やらないまどめ役となれるよう努力しました。やっぱり慣れない役は大変で時間ぎりぎりでの完成でしたけど皆が頑張ってくれたおかげで自分的には上手くまとめて私達の主張を発表できたかなと思います。自身も一、二年の時は資料作りの係で本番に発表することはなかったので今年の反対尋問の係は大役で緊張しました。しかし今まで見てきた先輩方を思い出してなんとか頑張りました。ディベートは過去三回の中で今年が一番充実し楽しかったです。私は大学受験でAO入試を考えているので今回学んだ事を活かして本番でも自分の主張をはっきり述べられるようにしたいと思います。

私が今年の研修で充実していたなと思うのは初めて「リ

「ダー」という大役をしたこともありませんが、それより大きかったのは一、二年生の存在です。ディベートでもスタンツでも皆が意見を出してくれて本当にありがたかったです。来年も同じように頑張ってほしいです。そして私もいつかOBとしてこの夏期研修に参加しようと思います。

夏期研修に参加して

創志学園高校三年 小林 桂子

八正会の夏期研修に参加するのも三回目です。今回は、台風の影響で雨が降る中でのスタートでした。

集合場所につくと、同級生の人と話をしながらバスの出発時間まで待ちました。バスの中でも、進路や文化祭などの話で盛り上がりました。私は、看護科で五年一貫なので大学には行かない予定です。なので、皆の話をきいて単純にすごいなと思っていました。

一日目は、久世先生の講義とレクリエーションを主に行いました。久世先生の講義の中で使った本は、すぐくためになることが書いてありそうなので、これから大切にしてい

時々読みたいと思います。レクリエーションでは毎年恒例のゲームをしました。楽しくゲームをできたのですが、結果が最下位だったので少し残念でした。一日目は、なぜか疲れていてスタンツを決めた後、すぐ寝てしまいました。

二日目は、ディベートとスタンツをしました。ディベートは、なかなか資料がまとまらずギリギリに出来上がりしました。実際にディベートで対決するとき、毎回反対尋問で当てられたらどうしようと不安に思っているのですが、今年は少し当てられることを期待していました。しかし、当てられませんでした。スタンツは集合時間直前まで練習していました。練習のとき、時間をはかってみると約二分間で短すぎるのではないかと思いましたが、他に案もなくそのまま挑戦することにしました。最初に発表した三班のクオリティーの高さに驚きました。出番まで緊張していましたが、いざ発表となると意外と楽しんですることができたので良かったです。また、結果も二位をとることができ、一日目のレクリエーションの分を取り返せたかなと思います。二位をとれたのは同じグループの後輩のおかげです。本当にありがとうございます。

三日目は、まが玉をつくりました。中学生のときに美術で同じようなことをやったことがあったので上手くできました。

今回は現役最後の夏期研修で本当に終わるのがあつという間でした。OBの方もたくさん来ていただき貴重なお話をきかせていただけ良かったです。次回はOBとして後輩たちのためにも、できるだけ参加したいと思います。

夏期研修に参加して

岡山城東高校三年 難波千里

「早く帰りたいな…(笑)」今までは何回か、研修中に思ったこともありました。しかし、今回は一度も思いませんでした!!一年で、たったの四回しか会えない沢山の友達と二泊三日を共にするのは気疲れもするし色々大変でした。でも三年生にもなれば、同じ学年の人と仲良くなれました。夜に色々な話をしたりとか本当に楽しかったです。

ここから、今回の研修で楽しかったことを振り返ってみます。一日目、まずはバスの中で、同じ学年の人と自分の学校について話したり、違う学校の話聞いて、自分が学校に行っている中では気付けない様々な学校の特色などが知れて楽しかったです。次は一日目のお風呂です。一番風

呂に入れて、すっごくお湯が気持ちよかったです。次は、夜に友達と小さな声で恋バナや世間話をして楽しかったです。二日目は、デイベートがありました。デイベートの議題は、「十八歳の選挙権は必要かどうか。」でした。私は肯定側立論を担当しました。OBの先輩に沢山のアドバイスをいただいて本当にいい勉強ができてうれしかったです。そしてビックイベントのスタンツでは、第五位だったけど班のみんなと協力して練習できたし、本番も本当に楽しかったです。三日目のまが玉づくりでは、すごく真剣に取り組むことができ、納得のいく作品が作れました。大好きなお母さんにプレゼントします。

今回の研修は、今までで一番楽しい研修でした。秋の研修も楽しみです。

夏期研修に参加して

岡山芳泉高校三年 小野雅史

今回の研修に行く前、僕はとても緊張していました。なぜなら、今年は僕たち三年生が一年生や二年生のリーダー

としてこの研修を引っ張っていかなければならなかったからです。結果的には、この役割を果たせたのではないかと思っておりますが、一年生や二年生の人に助けってもらうことも多く、OBの先輩方にもアドバイスをもらったりなど、集団行動の難しさを知って反省点も沢山ありました。

一日目は、修養団の久世先生の講話を聞いたり、ブラインドウォークをしたりしました。ブラインドウォークでは目が見えない相手を会話もせず案内することがどんなに難しいかや目が見えることへの感謝の気持ちに気付かされました。久世先生の話の中で印象的だったのは「苦しいから逃げるのではなく、逃げるから苦しいのだ」という言葉です。これは現在の受験勉強に対する僕の態度に通じているような気がして、苦しまないためにも真つすぐ勉強に向かい合おうと思えました。そして、その後のレクリエーションでは去年まではあまり話さなかった二年生や新一年生とも仲良くなれ、とても楽しかったです。

二日目に印象に残ったのは何といってもスタンツです。現役生として最後の夏の研修なので、どうしても勝ちたいという気持ちがありました。二日目になってせりふを変えたりしたので、覚えられるか不安だったのですが班の皆とやりきることができました。結果は三位。個人賞も頂けて、本当に最高の思い出になりました。

一年生、二年生だった時、僕はこの八正会での三年生の責任を「負担」だと思っていました。しかし、その責任の自覚が生まれたことで、今年の八正会は三年間で一番楽しいものになったと思います。この経験をこれからの社会生活にも役立てていきたいです。

夏期研修に参加して

岡山朝日高校三年 久 富 聖 也

僕は三年生なので今年で夏期研修は最後でした。最後までいうことで、思い切り楽しんでやろうという気持ちで参加しました。

今回の研修ではためになる講話やディベート、まが玉づくりなどのたくさんさんの貴重な経験をさせていただきましたが、その中でも一番の経験は、仲間との交流だと僕は思いました。この経験について主に二つに分けて述べたいと思います。

一つ目は、夜の同じ部屋の仲間達との交流についてです。夜、仲間とランプなどをして時の経つのを忘れるくらい

楽しかったです。ただ、そのために翌日の朝は少し辛かったです。

二つ目は、班の仲間達との交流についてです。僕は三年生ということで、リーダーの称号を頂きました。僕はリーダーとして頑張るよう努めたつもりですが、実際及ばない点が多くあったと思います。皆が僕を「リーダー」と呼んでくれてたときは本当に嬉しかったです。感謝しています。スタンツの順位は微妙だったけれど、練習が楽しかったのでよかったです。

僕は今回の研修に参加して本当によかったと思っています。本当に貴重な経験をすることができました。こんな経験をさせてくださった全ての関係者にとっても感謝しています。本当にありがとうございます。

夏期研修に参加して

山陽女子高校三年 影 山 姫 花

私は一年生のときも二年生のときも部活の関係で一日しか参加したことがなく、今回初めて三日間研修に参加でき

た。

今回の研修で一番に残ったことは、デイベートだ。自分はずのもうまくないし頭の回転もよくないからやる前はとても不安だった。でも、同じ四班の三年生がひっぱりていてくれてとても助かったしすごいなあと思った。私は反対尋問になってしまってたあふたしていたけど質問する内容とかを考えてくれて落ちついてすることができた。

私も一年生と二年生の女の子たちと協力して模造紙にグラフなどを書いて良いものを作れたと思う。デイベートをしたことで人前で話すことも少し楽になったし、相手の話を良く聞いて疑問に思うことを言ったりする力がついたと思う。それに、なにより大人になって会社に就職してこのような場面になったら活かせていけると思う。

楽しかったのはレクとスタンツだ。一日目のレクでは班の人と協力して一位をとれた。もっとやりたかった。スタンツでは白雪姫をやった。とても緊張したけど良いものが出て良かった。他の班の出し物もとてもおもしろく笑わせてもらった。やっぱりおもしろかったのは三班の「桃太郎」だ。するどいツツコミとダンスみたいなのが良かった。五班の新幹線のネタも笑えた。他の班ものまねやダンスなど工夫していてとてもおもしろかった。

一日目の久世先生のお話しはタメになることが多かった。

一番印象に残っているのは少しずつでも日々自分の全力を出すと成長する。そうすると、自分より上にいた人に勝てるということ。部活の顧問の先生も同じようなことをよく言っていてやはり努力は大切なことだと感じた。他にも、人間は知っていることをできていると勘違いしてしまうという事。挨拶も大きな声で自分からと知っていても実行にうつせているかと言われるとあやしいところがある。だから、知っているだけではなく実行に移せるようになるうと思つた。

今回の研修はこれから先の自分の人生に大切なことをたくさん学ぶことができた。それに、いろんな学校の人と仲よくなることができ友だちの輪も広げることができた。今回学んだことを活かして自分の人生を良いものにならなうと思う。最後の夏期研修に参加することができて良かった。

夏期研修に参加して

倉敷工業高校三年 清水 晃 希

今年三年生の僕にとっては最後の夏期研修でした。一日目から台風の影響で大雨で正直行く途中はあまり気持ちがのりませんでした。しかし、久しぶりに会う友達といろんなことをしゃべっていくうちにどんどん楽しくなってきました。

一日目は修養団の久世さんのお話を聞きました。日頃学ぶことのできないことをたくさん学ぶことができました。ブラインドウォークでは目の不自由な人の気持ちになって目をかくしてパートナーにつれられて歩きました。周りが見えないというのは本当に怖くて、目が不自由な人の気持ちを少しは味わえたんだと思います。そういう人を見かけたら少しでも力になってあげたいと思います。

二日目はデイベートとスタンツをしました。デイベートは一年生の頃から苦手で、今年は少しでも班の力になれるようにならうと思っていました。しかし今年もあまり役に立ってず、班も負けてしまったので、本当に悔しかったです。デイベートというのは八正会以外ではする機会がない

ので本当に良い経験になりました。スタンプは得意だったので優勝を狙ってがんばりました。班のみんなも恥ずかしいことも全力でやってくれたのでうれしかったです。どの班もとてもおもしくくてすごいなと思いました。その中でも僕たち三班が優勝できたので本当に良かったと思います。

三日目はまがだまづくりをしました。石をけずるのは正直つまらなかったけど、どんどんきれいになっていくうちに楽しくなっていました。

この夏期研修ではOBからも社会についていろいろ聞かせてもらい本当に貴重な時間となりました。就職にむけていいはずみになりました。

僕は八正会の夏期研修が大好きで、今年が最後だと思いと本当にさびしく感じます。他時期の八正会ではなかなかいろんな人とは話せないけど夏ではいろんな人と話せてすごくタメになる話も聞けるので本当に充実した時間が過ごせてました。八正会の友達とも会えるのが残り少なくなってしまうので残りの八正会も大切に過ごしていこうと思います。

夏期研修に参加して

岡山大学法学部一回生 橋野 弘 道

今回はOBとしての参加で、現役生のときとは違って新鮮な研修会となりました。OBとしてあまりサポートできなかったところもありましたが、後輩達がデイベートやスタンプなど自分達でやってのける姿は頼もしく感じました。

また、他のOBの方々もたくさん来てくださっていて、久しぶりに先輩方にお会いできたことも、本当に嬉しかったです。まさかのOBスタンプ「OBと雪の女王」はグダグダになってしまいましたが、OB共々、勝手に楽しんでやらせて頂きました。ありがとうございます。現役生のスタンプは限られた時間のなか、どれも仕上げられており、楽しませてもらいました。

現役生とは違ってOBは自由にさせていただき、サポートとして充実した二日間を過ごすことができました。現役生の皆さんも卒業後、都合が良ければ是非OBとして参加してみてください。私も都合があれば研修会に参加したいと思っていますので、またそのときは温かく迎えてやってください。

近況報告

岡山大学薬学部薬学科三年 後藤 千尋

今年も待ちに待った八正会の夏期研修がやってくる！

——そんなわくわく感を胸に、現役高校生の皆さんとは約一ヶ月遅れで前期期末試験に臨みました。三年生になると午前から午後にかけての三コマが講義、そのあと、二コマ連続で実験というスケジュールで朝から晩まで頭をフル回転させないといけないという日々でした。講義内容は一、二年生の時と比べると量、質ともかなりレベルアップしていて、普段皆さんが病院で診察を受けた後に薬局などで処方される抗生物質や入院患者さんが使用される抗がん剤などの名前、作用機序、副作用そして化学構造式も学習しました。

「医療現場で化学構造式が分かるのは薬剤師だけだから。」と口にされる教授も多く、薬剤師は「科学者」としての目も養わなければならないとされています。なぜ薬剤師が？と思われる方も多いと思います。けれど実際、薬の性質、例えば酸性か塩基性かとか、水溶性か脂溶性かといったことは化学構造から分かってくるので、化学構造式を

理解しておかないと患者さんに投与もしくは服用していただいたとき思わぬ結果を招くこともあるのです。そのため私もあまり得意ではないですが、患者さんの命を守るためにも一生懸命勉強しているところです。

実験では、微生物の性質を実際に菌を培養するところから始めて調べたり、ラットを解剖して薬を投与したりとちよつとはたから見るとびっくりしてしまう内容もありました。またどの実験も予想通りにいかず、なぜそのような結果になってしまったのかを自分で考えてレポートとしてまとめなければなりませんでした。「実験手技が未熟のため」と言ってしまうえば確かにそれだけで済んでしまうかもしれませんが、それ以外にどんな理由が挙げられるかを共同実験者の人たちと話し合ったり、一人でひたすら考え込んでいたりする時間をもつことで既習内容の定着につながることもができ、とても有意義でした。

さて、この夏も三日間の研修でフレッシュな現役高校生の皆さんと一緒に活動できて楽しかったです。受験、部活動や課題などそれぞれの学年で様々な悩みも抱えているだろうとは思いますが、「やるときはやる」という皆さんの行動力は大学生の私も見習いたいと思ってしまうかもしれません。これから学年が上がってもその行動力を忘れないでくださいね。

最後に、高校生の皆さん、辛いことや悲しいこと、悩んだりしていることは一人のためこまずに誰かに話すように心がけて下さい。皆さんの周りには話せば一緒に考えてくれる人がたくさんいます。一生懸命になればなるほど周りが見えにくくなってしまっているので、少し疲れたときは一度深呼吸して周りも見回してみして下さい。私もなるべく八正会の研修に今後も来ようと思うのでもし相談したいことがあれば気軽に聞いて下さいね！

近況報告&夏期研修に参加して

岡山県立大学保健福祉学部栄養学科一年

後 藤 眞 依

大学に入学してからはや半年が経過しました。新しい環境に慣れるまではバタバタとしていたのですが、今では料理教室のボランティアに参加したり、学習塾のアルバイトを始めたりと充実した大学生活を送っています。後期からは調理学実習がスタートするので、ますます専門的な勉強になるのだと、とても楽しみにしています。

さて、今年度はOBとして八正会の夏期研修会に参加させていただきましたが、三年生の成長した姿、また一・二年生の一生懸命な姿を目にすることができ、非常に頼もしいなあと思いました。私も一年生のときは先輩の姿に圧倒され、自分は大丈夫だろうか…と心配だったのですが、学年が上がるにつれて自分の役割をきちんと把握し行動する力がついたのではないかと思います。ディベートやスタンプで深まる八正会での絆をいつまでも皆さんには大切にしてほしいと思います。

ここで、受験をひかえた三年生の皆さんに少しですが先輩として伝えたいことが三つあります。まず一つ目に、「自分の進路は自分で決める」という自覚を忘れないようにしてください。最後まで諦めず、納得した進路決定ができるよう、しっかりと悩むことも必要です。そして二つ目は、「周囲を糧にする」です。もちろん、受験勉強は孤独なものです。同じ教室で頑張っている友人の姿は大きな糧になります。また周囲で支えてくれている家族の存在も有難いものです。そうであるからこそ、しっかりと周囲の励ましを勉強のエネルギーとして転換してほしいと思います。（八正会での出会いも支えになりますよ!!）三つ目は「健康管理をきちんと」です。精神と身体が通じ合っているように、体調を崩すと余計な不安や疲労感が蓄積してしま

います。勉強も大事ですが、自分の心と体の状態に注意し、受験を乗り切ってください。健闘を祈ります！

最後になりましたが、高校三年間多額の奨学金と、貴重な経験を本当にありがとうございました。またOBとなっても研修に参加させていただき、嬉しく思っています。これから機会がある限りOBとして後輩の皆さん、そして先輩方と八正会の場を通し、交流していきたいです。よろしくお願ひします。

夏期研修に参加して

東京大学文科一類一年 山 磨 貴 幸

一年の浪人期間を経て、この春より東京大学の方に在籍しております山磨貴幸と申します。今回の研修には、帰省期間を利用して、OBとしては初めて参加させていただきました。

参加してみて感じたことは、まず第一に、久世先生講話も然り、ディベートも然り、大学という広い社会に出た我が身にとっては非常に有益な勉強の機会を八正会は与えて

下さっているということです。正直な所、こうした経験は、高校在学中の方にとっては大して心に響くものではないかもしれません。しかし、社会に出て研修を振り返った際に、きっとその経験は自信の糧になっているはずです。その意味で、改めて八正会が用意して下さる学ぶ機会の有難さを感じる事ができました。

また、八正会会員が増えたこともあつてか、雰囲気が発なものになっているなあと感じました。自分が現役生の頃は、計四班、二十数人だったのが、今では計六班、四十数人になってる事には軽く衝撃を受けました。その分スタンツ発表等を見てもエネルギーで、この活発で和やかな空気を大切に、今後も八正会が続いてほしいと思います。

短い三日間ではありましたが、高校生の皆からパワーをもらえたような気がします。我々OBのお世話までしていただいた八正会スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

夏期研修に参加して

大阪大学経済学部一年 影山 俊介

今年も現役の時と同じく八正会の夏期研修に参加させていただきました。研修前日から台風が近づいていた影響で大阪からの電車が遅れたりと多少の戸惑いもありましたが、無事に最寄り駅に着き、三宅さんに閑谷まで車で送っていただきました。ありがとうございます。

さて、今回僕が参加させていただこうと思った理由は後輩のディベートを見たからであったのですが、後輩のみんなはかなり緊張している様子でした。一番後ろの席で今までとは違う視点でディベートを見ることができ、勉強になりました。発表するときはやはり大きな声で話すことの大切さを実感したひとときでした。

二日目の夜は、恒例のレクリエーションがありました。

OB組は何もせずただ後輩のネタを見ているだけではないかと思っていたのですが、本番の少し前に後輩に人数調整で入ってくれと言われ、その後OB組も何かやることになり、突然のことでもバタバタしてしまいました。本番の僕は、後輩の班のネタを大スベリさせてしまい、OB班の

「アナと雪の女王」もグダグダして観客のみなさんには退屈な思いをさせてしまったて申し訳なかつたのですが、当の本人はとっても楽しかったです。自己満足の極みだと思います。

今回初めてOBとして参加して、現役の時とは違う所から研修を見つめることができました。率直な感想は、「OBはかなりヒマ」でした。その中でも、他のOBの方と色々お話することができ、とても勉強になりました。来年も日程が合えば来ようと思います。貴重な経験をさせていただきます、ありがとうございます。

夏期研修に参加して

OB 岸 広 将

前日は中止になるのではないかと思って準備をしていなかったが、当日になって連絡が入らず、予定通り行くのだろうと考えて急いで準備をした。あまりにも荷物が多く、詰め込みながら時間を気にしていた。最寄りの備前三門駅の時刻表を見ると、あと五分だった。荷物が二つあり、豪

雨の中どうやって歩けばいいのかを瞬時に考え、段差でこけそうになりながらなんとか駅までたどりついた。私が重たい荷物をこれも筋トレのためだと思いつつ持っている、ベンチに座っていたおばあさんが荷物をここに置くように指示していただいた。世の中には親切な人がいるものだと思うた。三分後、岡山駅に到着すると、ハイチュウがほしくなったので買いに行った。荷物を持ったままレジに行き、この体勢でどうやって、ハイチュウの売買契約を締結して、金銭を支払おうかと思いつつながら、なんとかハイチュウの所有権を取得した。その後、ようやく目的地に到達した。この短距離でここまで苦労したのは恐らく初めてだと思う。バスに乗り込むことになった。運転手さんが自分の荷物を入れようとしたとき、一回目で持ち上げられなかったのが少しおもしろかった。バスに乗りこむと、ゆとりがあり少し快適だった。バスの中では勉強とウイニングイレブンをした。勉強は楽しかったが途中で疲れサッカーをした。コナミカップ第二戦のアルゼンチン戦は接戦だったが香川氏が後半残りわずかで決めてくれた。現実の試合でもぜひ決めてほしい。九月の親善試合が楽しみである。バスが止まった。入ると見慣れた空間であった。これから、八正会の研修勉強合宿がスタートすると思うと気合いが入った。修養団の久世さんの話が始まった。正座の話だった。

この話を聞くだけでも十分来た価値があると思った。話が終わる頃には体はかなり疲れていたがレクリエーションが始まった。最初のほうは疲れてボーっとしていた。自己紹介が始まった。最高裁長官または内閣総理大臣を目指していると言ったうえで趣味の話をした。アニメ、将棋、テレビ、ラジコン、プラモデル、勉強、散歩、自転車と述べたが、この頃には体が限界に近づいており、なぜかウイイレを忘れて趣味でもないラジコンとプラモが入ってしまった。さらに、将棋を二回もいれてしまった。司法試験に一位かつ最年少で合格することを公約にしたい。そして早く寝たいと思いつつながら次の日の朝のNHKの将棋トーナメントが見れるかどうか気になっていたが部屋にかえるとディベートと重なっていた。囲碁は見れる時間だったがルールが分からない。台風が来たり、不運が重なってしまった。そして夜には、髪をかかすのに苦労したり論述答案の研究をしたり、サッカーをしながらかつた。髪がかわきようやく寝れると思ったが夜の会議が始まり目がギンギンになってしまった。そして、寝れないので暗やみのなかで思索にふけていたり、トイレに行ったりしながら長い夜と戦っていた。トイレに電気をつけずに三分立っていると眠くなるかもしれないと思って実験したが徒労に終わった。そして一時間しか寝られなかった。次の日の朝は体にもす

ごい重力を感じた。デイベートが始まり私は得点計算係に選出された。ミスはゆるされないと思い、ますます体に感じていた重力は強くなった。白熱した論戦をみた後には体の疲れはピークに達していた。そして入浴を楽しみ、今日は寝れるだろうかと思いい心配をしていた。髪をかわかすことに成功はしたが再び夜の会議が始まるのではないかと警戒していた。すると、当然のように夜の会議がはじまった。公共の福祉を主張しようとしたがしなかった。今回は四時間も寝ることに成功した。日常生活では少なすぎるが最高にうれしかった。ここまで書いて時間が来たので筆をおくことにする。研修の内容も充実し、勉強もはかどって一石二鳥の合宿で今後もできる限り出席し、来る度に以前とは比べものにならないほどスキルを上げておきたい。

編集後記

体重減のげんを担いで今年の夏は、世界自然遺産の島「屋久島」の縄文杉トレッキングに挑戦した。片道11km（トロッコ道8.3km＋登山道2.7km）を5時間かけて登り、同じ道をまた戻るコースである。「屋久杉」は樹齢1000年以上の杉の呼称でありそれより若い杉は「小杉」と呼ばれるそうである。様々な屋久杉を見て「おお。」と感動するより至る所でわき水を汲んで飲むことができる。人が入らず、自然がそのまま残されていることの方が、実感でき感動させられた。トレッキング前日には、「白谷雲水峡」の「苔むす森」を散策した。ここは、「もののけ姫」のモロー族の住む岩屋のモデルになったとのことだが、大きな一枚岩の花崗岩も苔からしたり落ちる水滴も伏流水のため木も岩も一体となった景観もでいたらぼっちが出そうな雰囲気にも包まれている。港では30度以上の気温で暑い真夏の季節でも自然休養林の中やトロッコ道では光が遮られまた谷川のせせらぎや標高差で暑さが感じられないのである。トロッコ道のトロッコで人の運搬をすれば、もっと観光開発できるのであろうが、逆に歩いていかないと出会えない制限があるからこそ、自然が保たれ感動もうまれるのかもしれない。

【屋久島の芋焼酎：三岳に酔いしれるYUA】

発行責任者
発行者

落司量則

公益財団法人 八正会（トンボ育英事業団体）

郵便番号七〇〇一〇九八五

岡山市北区厚生町二丁目二番九号

株トンボ内 電話〇八六一二二三二一〇三二一

印刷所

協同精版印刷株式会社

平成二十六年九月